

沖縄県M I C E開催実態調査
(令和6年版)
報 告 書

令和7年10月
沖 縄 県

目次

1. 開催実態調査.....	1
1－1. 調査目的.....	1
1－2. 令和6年の調査について	1
(1) 調査対象期間.....	1
(2) 調査対象催事.....	1
(3) 調査対象施設等	1
(4) 調査・集計方法	1
1－3. 過去6年の調査対象件数と回答件数.....	2
1－4. 調査対象区分と回答内容	2
1－5. MICE 開催実態調査	3
1－5－1. 調査結果概要	3
(1) 全体の開催件数	3
(2) 全体の参加者数	5
1－5－2. 規模別開催実態	7
(1) 規模別開催件数	7
(2) 参加者数1,000人以上の開催件数.....	10
(3) 海外及び県外参加者300人以上の開催件数	12
1－5－3. 月別開催実態.....	14
(1) 月別開催件数.....	14
(2) 月別参加者数.....	16
(3) 月別1件当たり平均参加者数	18
1－5－4. 平均会期日数.....	21
(1) 平均会期日数.....	21
1－5－5. 参加者区分別開催実態	23
(1) 参加者の地域分布	23
(2) 海外参加者を伴う催事の開催件数.....	25
1－5－6. その他区分別の開催実態.....	26
(1) 産業別開催件数・参加者数.....	26
(2) 参加者の主な出発地.....	32
(3) エリア別・市町村別開催件数	34
(4) エリア別・市町村別参加者数	40
(5) 施設別開催件数	44
1－6. 経済波及効果の結果	46
1－6－1. 経済効果（直接効果）	46
1－6－2. 経済波及効果（間接効果）	49
2. 参考資料	50
2－1. 開催実態調査 調査票.....	50
2－2. ガイドライン	51

1. 開催実態調査

1-1. 調査目的

本調査は、今後の MICE 施策推進に向けた基礎資料とするため、沖縄県における MICE の開催実態を把握することを目的とする。

1-2. 令和6年の調査について

(1) 調査対象期間

令和6年1月1日～令和6年12月31日（1年分）

(2) 調査対象催事

以下に該当する MICE 催事で、かつ、県外又は海外からの参加者（主催者を除く）が10人以上の催事を対象とする。

- ① 企業等の行う会議（Meeting）
- ② 企業等の行う報奨・招待・研修旅行（Incentive Travel）
- ③ 国際機関・団体や学会等が行う国内・国際会議（Convention）
- ④ 展示会・見本市・商談会（Exhibition）
- ⑤ その他ビジネスイベント（Event）等

※令和2年までは「E（Exhibition, Event）」をまとめて集計していたが、令和3年から「Ex（Exhibition）」と「Ev（Event）」とに細分化して集計する方法に変更した。
ただし、一部図表については、従前どおり「E（Exhibition, Event）」とまとめた形式で表記している。

(3) 調査対象施設等

- ① 会議施設
- ② 宿泊施設（主にバンケット機能を有する宿泊施設）
- ③ 県内大学
- ④ 団体受入を実施している観光施設等
- ⑤ 沖縄県又は OCVB が指定する施設・団体（MICE 受入実績を有する旅行会社・PCO 等）

(4) 調査・集計方法

調査は所定の調査票（参考資料2-1）を郵便又は電子メールにて調査対象となる施設等に送付する方法により実施した。なお、データ集計に際しては、以下の内容について精査した上で集計を行った。

- ① 回答の中で催事名及び開催期間が重複した場合、同一催事とみなし統合
- ② 「沖縄県 MICE 開催実態調査ガイドライン」（参考資料2-2）に該当する実績を集計（ガイドラインに定める調査対象催事に該当しない催事は除外）

※小数点以下の数値は四捨五入表記としており、総和と各項目の合計が一致しない場合がある。

1－3. 過去6年の調査対象件数と回答件数

調査対象件数及び回答件数は下表のとおりである。

図表1. 調査対象件数及び回答件数 【令和元年～令和6年】

(単位:件)

	令和元 (平成31)年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
調査対象件数	520	547	506	510	438	412
回答件数	386	429	384	416	333	338
うち受入有	118	136	100	105	114	132
受入無	268	293	284	311	219	206
回答率	74%	78%	76%	82%	76%	82%

1－4. 調査対象区分と回答内容

本調査の対象区分と回答件数等は下表のとおりである。

図表2. 調査対象区分別・回収件数

(単位:件)

団体・施設・期間	送付 件数	回答(MICE 受入の確認)			未回答	回答率
		受入有	受入無	合計		
会議施設	64	23	32	55	9	86%
ホテル	119	46	48	94	25	79%
ユニークベニュー	18	10	5	15	3	83%
旅行会社	25	5	9	14	11	56%
体験プログラム	26	4	14	18	8	69%
視察・見学	18	5	10	15	3	83%
官公庁・外郭団体	108	26	74	100	8	93%
産業団体その他	22	9	10	19	3	86%
PCO	12	4	4	8	4	67%
合計	412	132	206	338	74	82%

1-5. MICE 開催実態調査

1-5-1. 調査結果概要

(1) 全体の開催件数

沖縄県における MICE 開催件数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和 2 年及び令和 3 年には大幅に減少し、県内の MICE 関連産業は厳しい状況に置かれたが、令和 4 年 1 月 9 日～2 月 20 日まで適用された「まん延防止等重点措置」が解除されたことを受けて実績は徐々に増加し、令和 4 年の開催件数は計 958 件であった。令和 5 年には開催件数が計 1,544 件となり、過去最高であった令和元年と比較しても 94%まで回復した。

令和 6 年の開催件数は計 2,073 件（前年比 134%、529 件増）となっており、これまで最多であった令和元年の実績を超え、調査開始以降の最多件数となった。

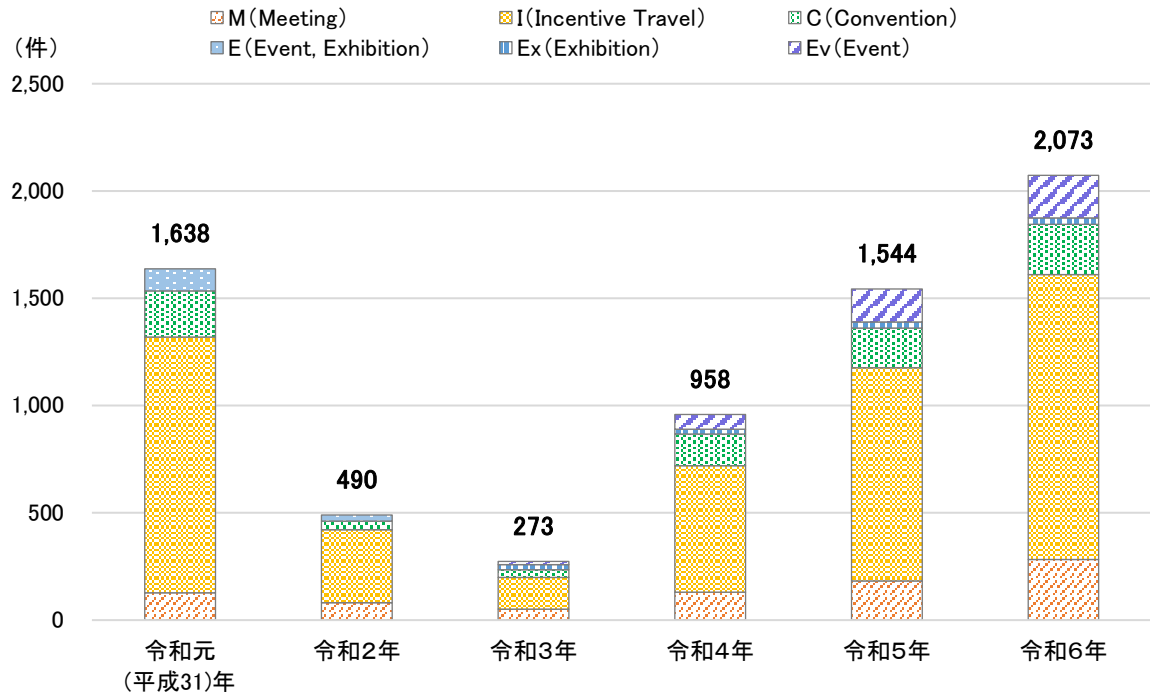
催事別(M/I/C/E)の構成は、過去の傾向と同様に「I（Incentive Travel）」の割合が大きく、1,329 件で構成比 64%となっている。次いで「M（Meeting）」が 282 件（構成比 14%）、「C（Convention）」が 233 件（構成比 11%）、「E（Exhibition, Event）」が 229 件（構成比 11%）であり、年間の開催件数はどの催事においても前年に比べ増加している。

図表3. 年別開催件数 【令和元年～令和 6 年】

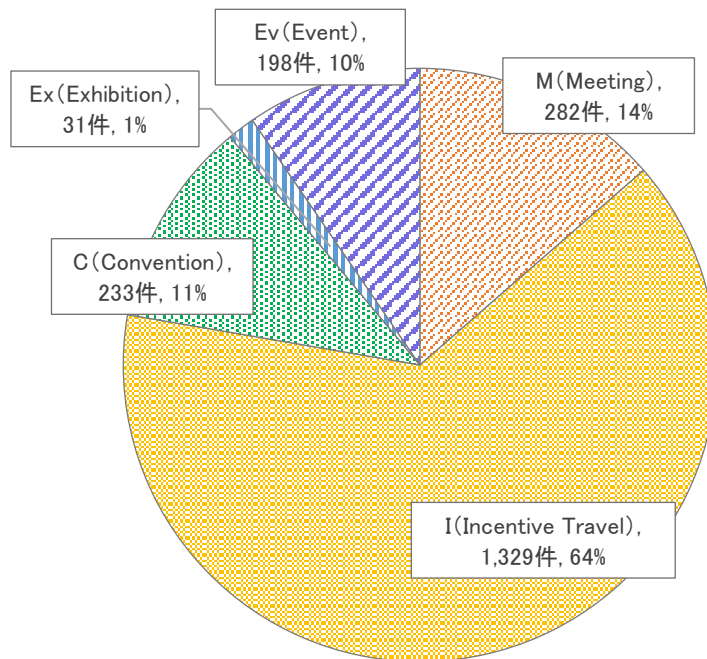
（単位：件）

	令和元 (平成 31) 年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年			
	件数	件数	件数	件数	件数	件数 (割合)	増減数	前年 比	
M(Meeting)	128	81	51	131	183	282 (14%)	99	154%	
I(Incentive Travel)	1,191	341	148	588	993	1,329 (64%)	336	134%	
C(Convention)	216	40	36	148	185	233 (11%)	48	126%	
E(Exhibition, Event)	103	28	38	91	183	229 (11%)	46	125%	
Ex(Exhibition)	－	－	14	23	29	31 (1%)	2	107%	
Ev(Event)	－	－	24	68	154	198 (10%)	44	129%	
合 計	1,638	490	273	958	1,544	2,073 100%	529	134%	

図表4. 開催件数の推移【令和元年～令和6年】



図表5. 令和6年 催事別開催件数の割合



(2) 全体の参加者数

令和6年の参加者数は計1,211,156人（前年比128%、266,734人増）となっており、これまで最多であった令和5年の実績を超え、調査開始以降の最多人数となった。

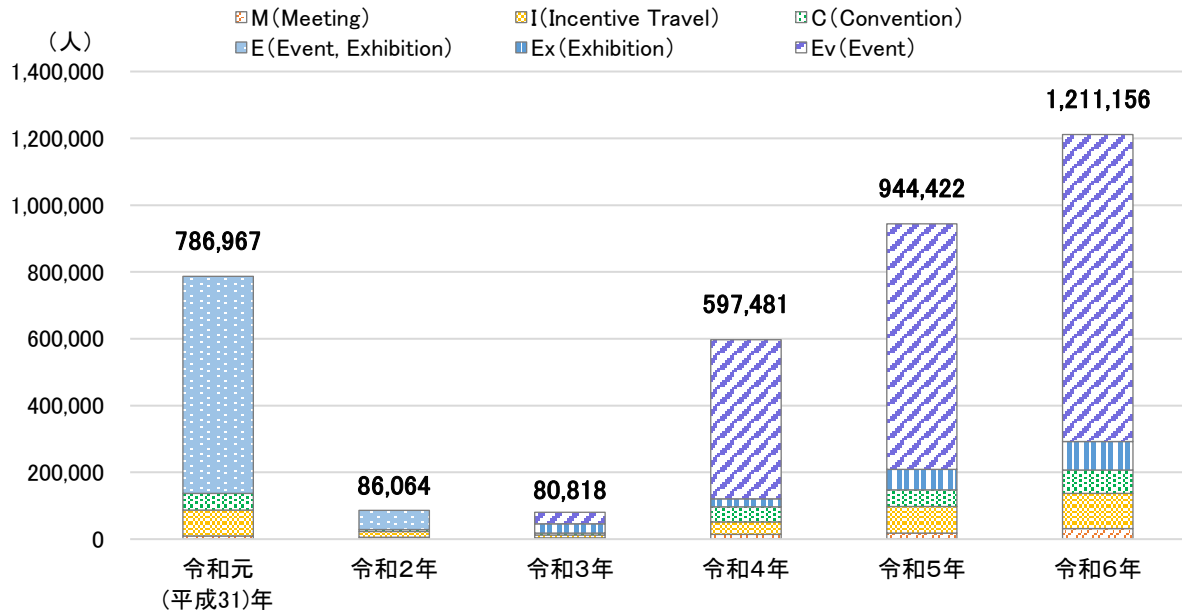
催事別(M/I/C/E)の構成は、過去の傾向と同様に「E（Exhibition, Event）」の割合が大きく、1,003,781人で構成比83%、次いで「I（Incentive Travel）」が106,284人（構成比9%）となっている。「I（Incentive Travel）」及び「C（Convention）」、「E（Exhibition, Event）」は過去最多の人数となった。

図表6. 年別参加者数 【令和元年～令和6年】

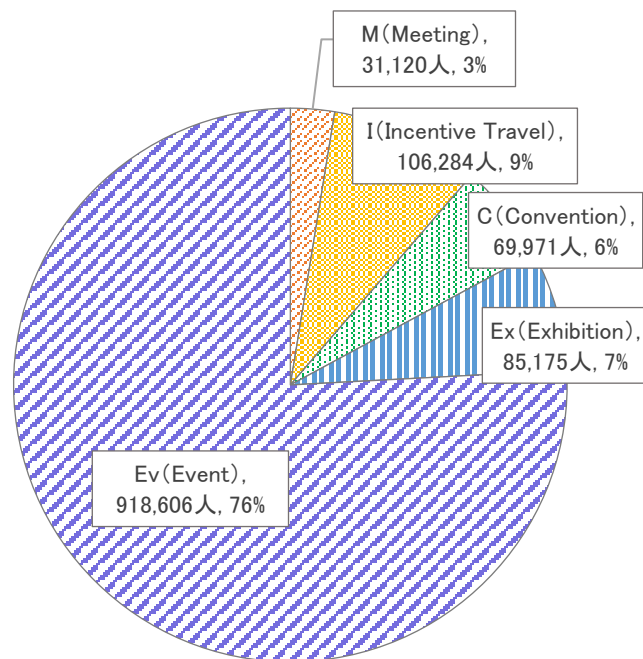
（単位：人）

	令和元 (平成31) 年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年			
	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数	参加者数 (割合)	増減数	前年 比	
M(Meeting)	9,923	5,260	4,221	13,866	17,685	31,120	(3%)	13,435	176%
I(Incentive Travel)	77,250	17,342	7,987	38,010	79,702	106,284	(9%)	26,582	133%
C(Convention)	50,072	6,247	5,993	44,946	50,291	69,971	(6%)	19,680	139%
E(Exhibition, Event)	649,722	57,215	62,617	500,659	796,744	1,003,781	(83%)	207,037	126%
Ex(Exhibition)	－	－	28,123	24,303	60,965	85,175	(7%)	24,210	140%
Ev(Event)	－	－	34,494	476,356	735,779	918,606	(76%)	182,827	125%
合 計	786,967	86,064	80,818	597,481	944,422	1,211,156	100%	266,734	128%

図表7. 参加者数の推移【令和元年～令和6年】



図表8. 令和6年 催事別参加者数の割合



1-5-2. 規模別開催実態

(1) 規模別開催件数

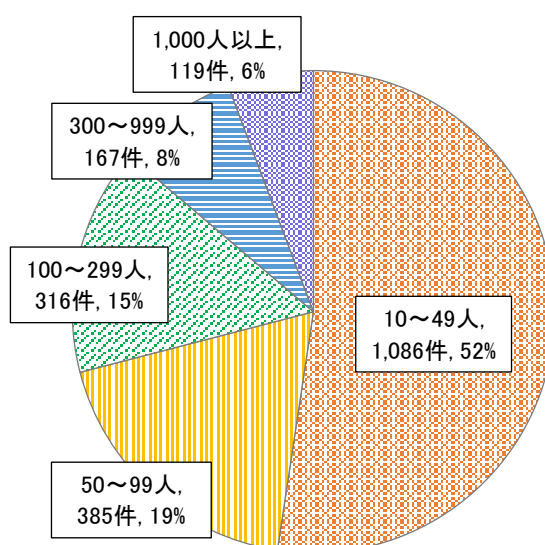
令和6年の開催件数について、参加人数の規模別では、100人未満の小規模催事(10～49人：1,086件、50～99人：385件)が全体の71%を占めており、100人以上1,000人未満の中規模催事(100～299人：316件、300～999人：167件)が23%、1,000人以上の大規模催事(119件)が6%となっている。令和5年と比較すると、小規模催事は406件増(前年比138%)、中規模催事は102件増(前年比127%)、大規模催事は21件増(前年比121%)で、小規模催事において増加率が高い。

また、催事別では小規模催事が約80%を占める「M(Meeting)」(230件)や「I(Incentive Travel)」(1,111件)がある一方で、「Ev(Event)」では中規模催事(92件)及び大規模催事(91件)で92%を占めており、より規模の大きな催事が開催されたといえる。

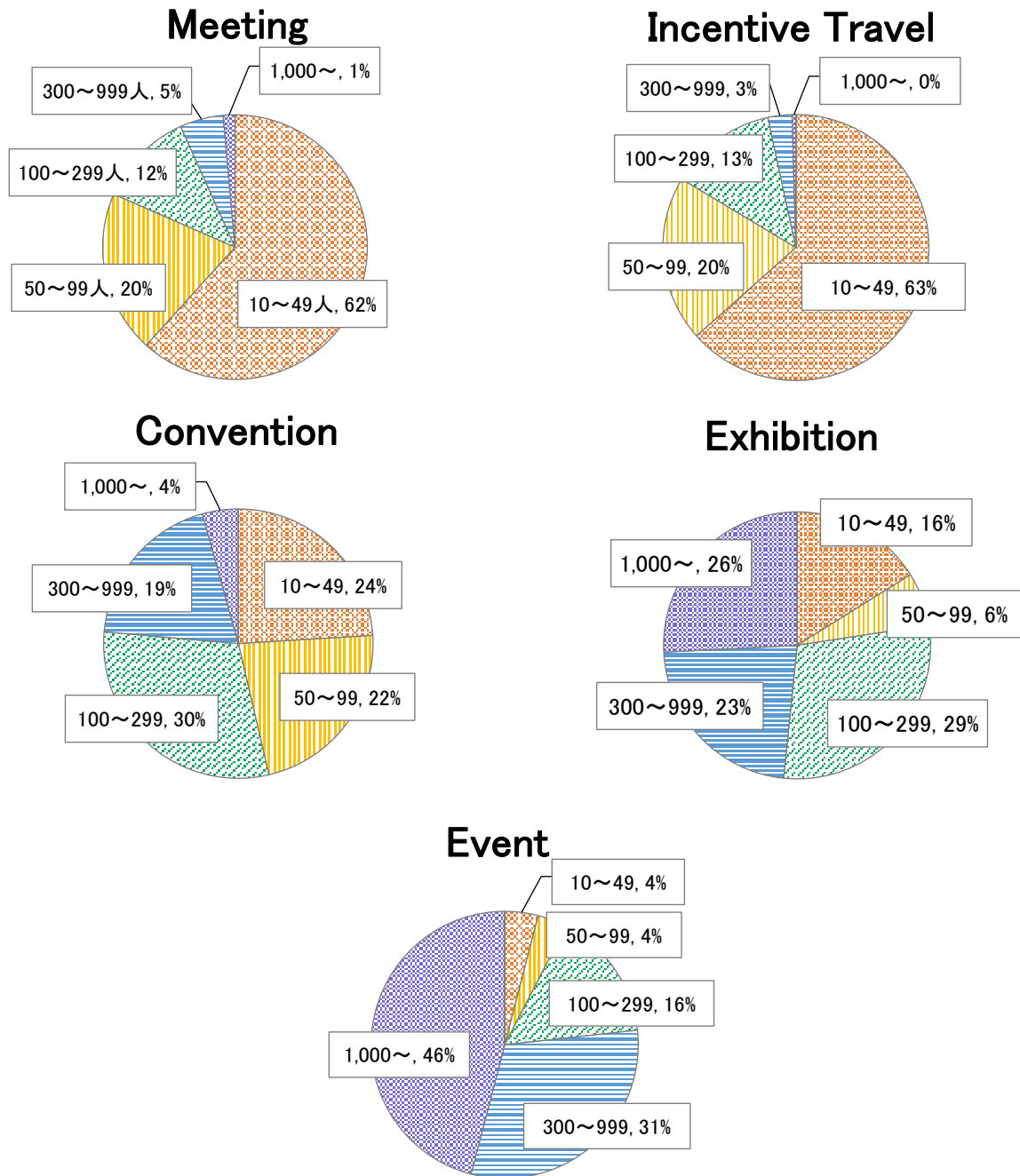
図表9. 令和6年 規模別開催件数

参加者数 (人)	10～49		50～99		100～299		300～999		1,000～		計
	件数 (前年増減)	構成比	件数 (前年増減)	構成比	件数 (前年増減)	構成比	件数 (前年増減)	構成比	件数 (前年増減)	構成比	件数 (前年増減)
M	174 (65)	62%	56 (24)	20%	33 (3)	12%	15 (5)	5%	4 (2)	1%	282 (99)
I	843 (205)	63%	268 (90)	20%	173 (27)	13%	39 (15)	3%	6 (-1)	0%	1,329 (336)
C	56 (6)	24%	52 (19)	22%	70 (8)	30%	45 (12)	19%	10 (3)	4%	233 (48)
Ex	5 (4)	17%	2 (-2)	7%	9 (-1)	30%	7 (-1)	23%	8 (2)	26%	31 (2)
Ev	8 (-6)	4%	7 (1)	4%	31 (-1)	16%	61 (35)	31%	91 (15)	46%	198 (44)
計	1,086 (274)	52%	385 (132)	19%	316 (36)	15%	167 (66)	8%	119 (21)	6%	2,073 (529)

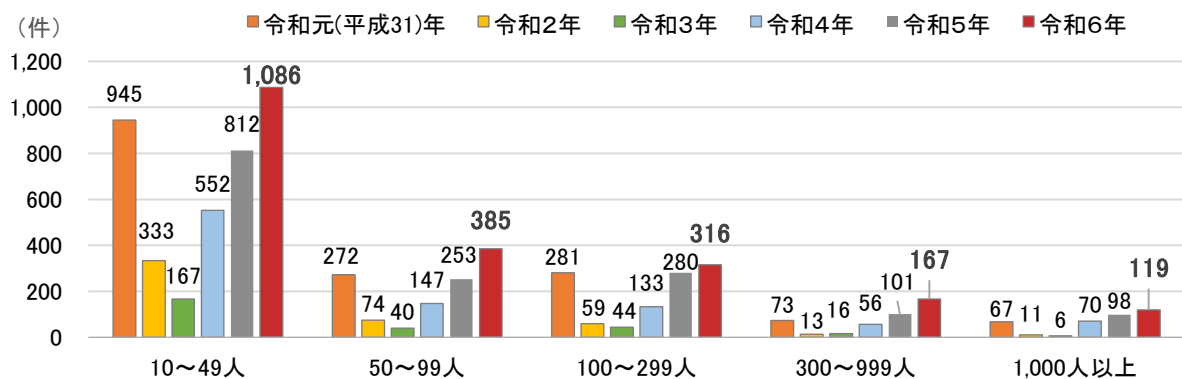
図表10. 令和6年 規模別開催件数



催事別構成比



図表11. 規模別開催件数の推移【令和元年～令和6年】



図表12. 令和6年 規模別開催件数の月別推移

(単位:件)

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
10～49人	件数	1,086	65	94	97	99	80	151	102	23	67	123	150	35
	(%)	52%	6%	9%	9%	9%	7%	14%	9%	2%	6%	11%	14%	3%
50～99人	件数	385	25	34	39	26	31	41	32	3	15	59	59	21
	(%)	19%	6%	9%	10%	7%	8%	11%	8%	1%	4%	15%	15%	5%
100～299人	件数	316	18	26	23	19	28	47	27	8	26	42	37	15
	(%)	15%	6%	8%	7%	6%	9%	15%	9%	3%	8%	13%	12%	5%
300～999人	件数	167	10	9	10	21	7	16	18	6	7	19	28	16
	(%)	8%	6%	5%	6%	13%	4%	10%	11%	4%	4%	11%	17%	10%
1,000人以上	件数	119	9	10	15	6	7	16	12	9	6	12	8	9
	(%)	6%	8%	8%	13%	5%	6%	13%	10%	8%	5%	10%	7%	8%
合計	件数	2,073	126	173	184	172	153	271	191	49	121	255	282	96
	(%)	100%	6%	8%	9%	8%	7%	13%	9%	2%	6%	12%	14%	5%

図表13. 令和5年 規模別開催件数の月別推移

(単位:件)

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
10～49人	件数	812	31	57	64	72	76	105	67	18	54	108	112	36	12
	(%)	53%	4%	7%	8%	9%	9%	13%	8%	2%	7%	13%	14%	4%	1%
50～99人	件数	253	16	18	19	25	24	30	19	3	14	30	36	13	6
	(%)	16%	6%	7%	8%	10%	9%	12%	8%	1%	6%	12%	14%	5%	2%
100～299人	件数	280	14	23	13	22	24	35	31	7	11	35	34	30	1
	(%)	18%	5%	8%	5%	8%	9%	13%	11%	3%	4%	13%	12%	11%	0%
300～999人	件数	101	1	3	9	8	4	7	10	2	12	18	17	10	0
	(%)	7%	1%	3%	9%	8%	4%	7%	10%	2%	12%	18%	17%	10%	0%
1,000人以上	件数	98	9	4	9	8	4	16	12	1	4	9	11	11	0
	(%)	6%	9%	4%	9%	8%	4%	16%	12%	1%	4%	9%	11%	11%	0%
合計	件数	1,544	71	105	114	135	132	193	139	31	95	200	210	100	19
	(%)	100%	5%	7%	7%	9%	9%	13%	9%	2%	6%	13%	14%	6%	1%

(2) 参加者数 1,000 人以上の開催件数

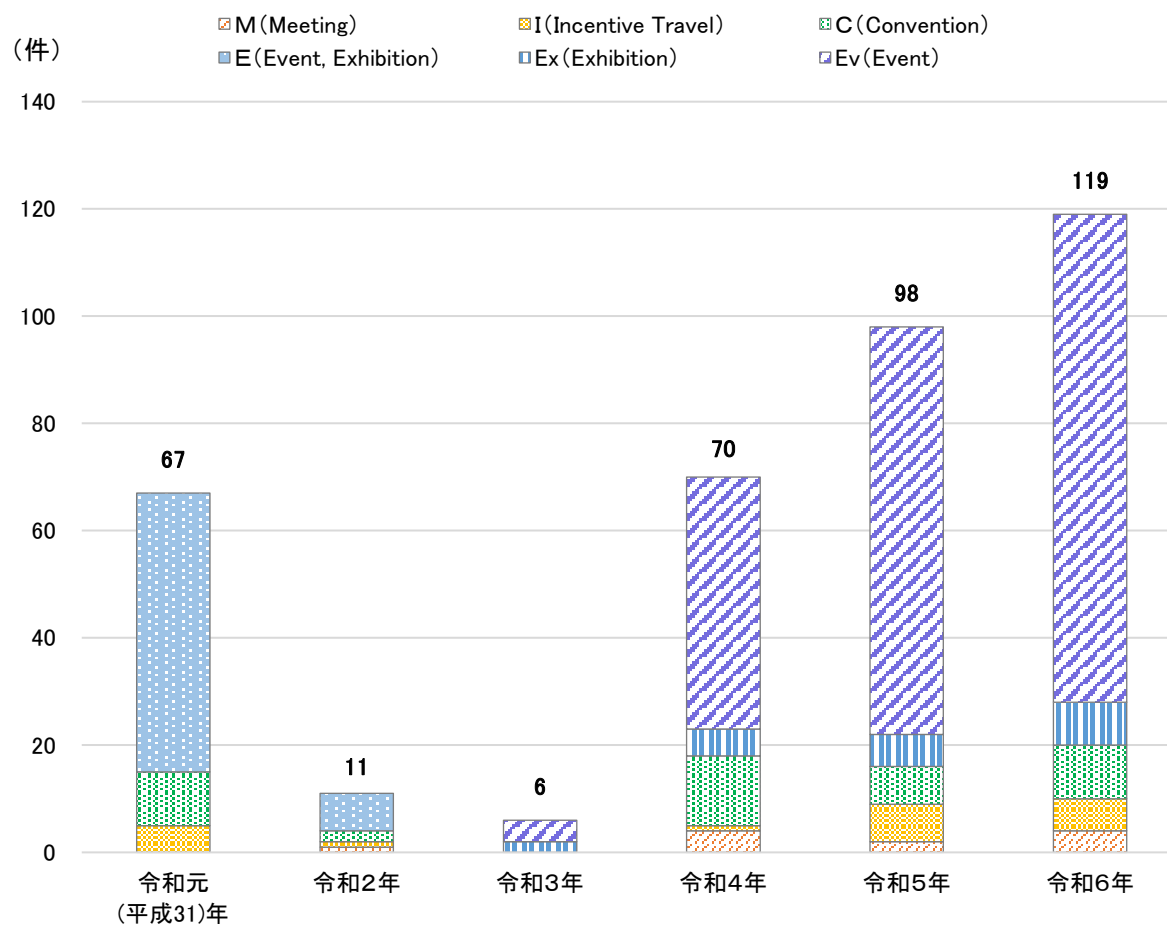
参加者 1,000 人以上の大規模催事は、令和 5 年から 21 件増加して 119 件（前年比 121%）で、調査開始以降の最高件数となった。「M (Meeting)」は 4 件（前年比 200%）で、近年整備された大型の会議施設で開催された。また、例年特に大きな割合を占めている「E (Exhibition, Event)」については、1 万人以上を動員したイベントも 16 件開催され、過去最高の 99 件で前年から 17 件（前年比 121%）の増加となっている。

図表14. 参加者数 1,000 人以上の開催件数の推移【令和元年～令和 6 年】

（単位：件）

	令和元 (平成 31)年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
M(Meeting)	0	0%	1	9%	0	0%	4	6%	2	2%	4	3%
I(Incentive Travel)	5	7%	1	9%	0	0%	1	1%	7	7%	6	5%
C(Convention)	10	15%	2	18%	0	0%	13	19%	7	7%	10	8%
E(Exhibition, Event)	52	78%	7	64%	6	100%	52	74%	82	84%	99	83%
Ex (Exhibition)	－	－	－	－	2	33%	5	7%	6	6%	8	7%
Ev(Event)	－	－	－	－	4	67%	47	67%	76	78%	91	76%
合 計	67		11		6		70		98		119	

図表15. 参加者数 1,000 人以上の開催件数の推移【令和元年～令和 6 年】



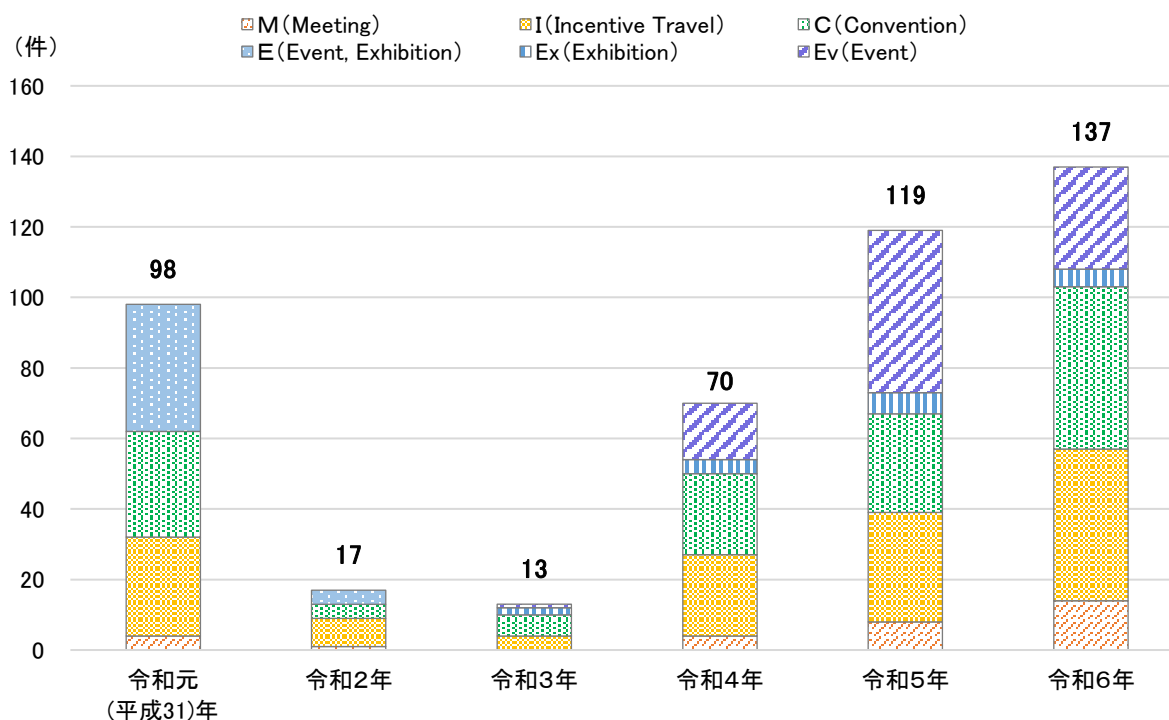
(3) 海外及び県外参加者 300 人以上の開催件数

海外及び県外参加者が 300 人以上の催事は、令和 5 年から 18 件増加して 137 件（前年比 115%）で過去最高となっている。催事別に見ると、「M (Meeting)」は 14 件（前年比 175%、6 件増）、「I (Incentive Travel)」は 43 件（前年比 139%、12 件増）、「C (Convention)」は 46 件（前年比 164%、18 件増）と、それぞれ前年に比べ増加した一方、「Ex (Exhibition)」は 5 件（前年比 83%、1 件減）、「Ev (Event)」は 29 件（前年比 63%、17 件減）と、それぞれ前年に比べ減少している。

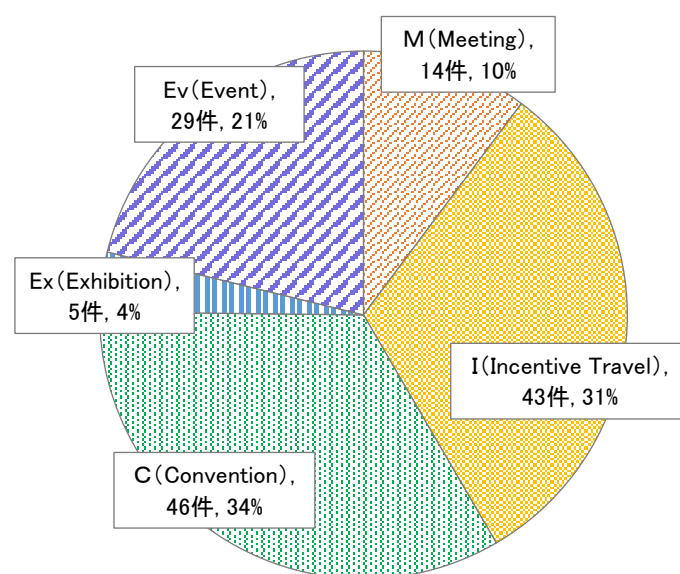
図表16. 海外＋県外参加者 300 人以上催事件数【令和元年～令和 6 年】

	令和元 (平成 31) 年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
M(Meeting)	4	4%	1	6%	0	0%	4	6%	8	7%	14	10%
I(Incentive Travel)	28	29%	8	47%	4	31%	23	33%	31	26%	43	31%
C(Convention)	30	31%	4	24%	6	46%	23	33%	28	24%	46	34%
E(Exhibition, Event)	36	37%	4	24%	3	23%	20	29%	52	44%	34	25%
Ex(Exhibition)	－	－	－	－	2	15%	4	6%	6	5%	5	4%
Ev(Event)	－	－	－	－	1	8%	16	23%	46	39%	29	21%
合 計	98		17		13		70		119		137	

図表17. 海外＋県外参加者 300 人以上催事件数の推移【令和元年～令和 6 年】



図表18. 令和6年 海外+県外参加者300人以上催事件数



1-5-3. 月別開催実態

(1) 月別開催件数

月別開催件数は、11月（282件）が最多となっている。催事別に見ても11月はMICEの開催が集中しており、特に「Convention」の開催件数が最も多い月でもある。また、8月が最も少なくなっているのは、台風の影響を避けて日程調整をすることや、航空券や宿泊費が高額となること等の理由が考えられる。全体の開催状況は6月、10月及び11月が多くなっており、前年までと同様の傾向となっている。

図表19. 令和6年 月別開催件数

(単位:件)

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M(Meeting)	件数	282	31	23	24	22	20	24	29	5	18	37	29	20
	(%)	14%	11%	8%	9%	8%	7%	9%	10%	2%	6%	13%	10%	7%
I(Incentive Travel)	件数	1,329	67	108	107	120	103	201	130	19	71	169	190	44
	(%)	64%	5%	8%	8%	9%	8%	15%	10%	1%	5%	13%	14%	3%
C(Convention)	件数	233	12	24	27	7	17	25	16	8	14	26	43	14
	(%)	11%	5%	10%	12%	3%	7%	11%	7%	3%	6%	11%	18%	6%
Ex(Exhibition)	件数	31	4	4	1	6	2	2	1	0	3	4	4	0
	(%)	1%	13%	13%	3%	19%	6%	6%	3%	0%	10%	13%	13%	0%
Ev(Event)	件数	198	12	14	25	17	11	19	15	17	15	19	16	18
	(%)	10%	6%	7%	13%	9%	6%	10%	8%	9%	8%	10%	8%	9%
合計	件数	2,073	126	173	184	172	153	271	191	49	121	255	282	96
	(%)	100.0%	6%	8%	9%	8%	7%	13%	9%	2%	6%	12%	14%	5%
参加者数(人)		1,211,156	180,703	40,876	125,587	59,910	19,842	70,966	58,948	41,054	22,723	393,389	150,846	46,312

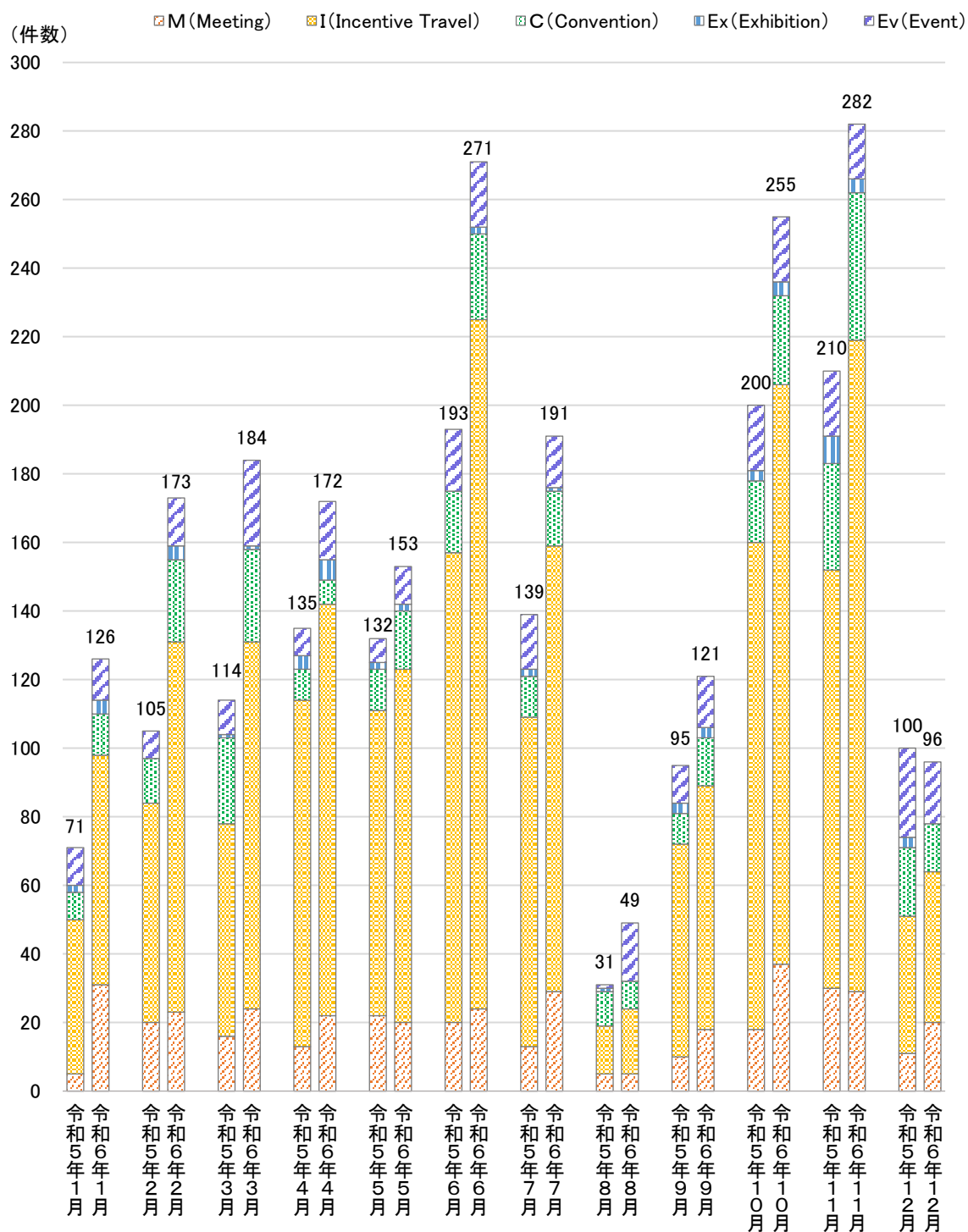
<参考> 令和5年の月別開催件数

図表20. 令和5年 月別開催件数

(単位:件)

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
M(Meeting)	件数	183	5	20	16	13	22	20	13	5	10	18	30	11	0
	(%)	12%	3%	11%	9%	7%	12%	11%	7%	3%	5%	10%	16%	6%	0%
I(Incentive Travel)	件数	993	45	64	62	101	89	137	96	14	62	142	122	40	19
	(%)	64%	5%	6%	6%	10%	9%	14%	10%	1%	6%	14%	12%	4%	2%
C(Convention)	件数	185	8	13	25	9	12	18	12	10	9	18	31	20	0
	(%)	12%	4%	7%	14%	5%	6%	10%	6%	5%	5%	10%	17%	11%	0%
Ex(Exhibition)	件数	29	2	0	1	4	2	0	2	1	3	3	8	3	0
	(%)	2%	7%	0%	3%	14%	7%	0%	7%	3%	10%	10%	28%	10%	0%
Ev(Event)	件数	154	11	8	10	8	7	18	16	1	11	19	19	26	0
	(%)	10%	7%	5%	6%	5%	5%	12%	10%	1%	7%	12%	12%	17%	0%
合計	件数	1,544	71	105	114	135	132	193	139	31	95	200	210	100	19
	(%)	100%	5%	7%	7%	9%	9%	13%	9%	2%	6%	13%	14%	6%	1%
参加者数(人)		944,422	41,782	17,034	48,215	58,487	14,508	50,287	71,865	9,401	32,448	355,296	192,113	52,081	905

図表21. 令和5年及び令和6年 開催件数の月別推移



(2) 月別参加者数

令和6年の月別参加者数は10月(393,389人)が突出しており、これは「第48回沖縄の産業まつり」や「第38回とみぐすく祭り・第9回とみぐすく産業フェスタ」が開催されたことに大きく起因している。

図表22. 令和6年 月別参加者数

(単位:MICE参加者数:人/入域観光客:千人)

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M	人数	31,120	1,641	1,327	1,293	2,052	1,330	9,882	3,115	182	2,032	3,657	1,564	3,045
	(%)	3%	5%	4%	4%	7%	4%	32%	10%	1%	7%	12%	5%	10%
I	人数	106,284	8,095	6,230	7,768	8,575	5,949	22,069	16,268	721	3,260	11,264	12,225	3,860
	(%)	9%	8%	6%	7%	8%	6%	21%	15%	1%	3%	11%	12%	4%
C	人数	69,971	927	9,863	3,808	489	3,687	4,845	12,750	2,561	2,421	8,231	10,899	9,490
	(%)	6%	1%	14%	5%	1%	5%	7%	18%	4%	3%	12%	16%	14%
Ex	人数	85,175	3,800	2,794	33	2,250	176	250	300	0	4,170	24,510	46,892	0
	(%)	7%	4%	3%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	5%	29%	55%	0%
Ev	人数	918,606	166,240	20,662	112,685	46,544	8,700	33,920	26,515	37,590	10,840	345,727	79,266	29,917
	(%)	76%	18%	2%	12%	5%	1%	4%	3%	4%	1%	38%	9%	3%
合計	人数	1,211,156	180,703	40,876	125,587	59,910	19,842	70,966	58,948	41,054	22,723	393,389	150,846	46,312
	(%)	100%	15%	3%	10%	5%	2%	6%	5%	3%	2%	32%	12%	4%
県外・海外参加者数		263,624	22,785	15,672	22,037	31,654	10,691	37,723	26,293	4,256	7,840	31,956	34,289	18,428
内訳不明参加者数		220	0	9	0	0	0	29	0	0	0	8	0	174
入域観光客 (単位:千人)		9,668.8	629.2	719.2	845.1	752.3	710.4	748.0	915.4	1,003.8	830.9	886.9	811.2	816.4

※入域観光客数出典:「令和6年入域観光客統計概況」(沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課)

<参考> 令和5年の月別参加者数

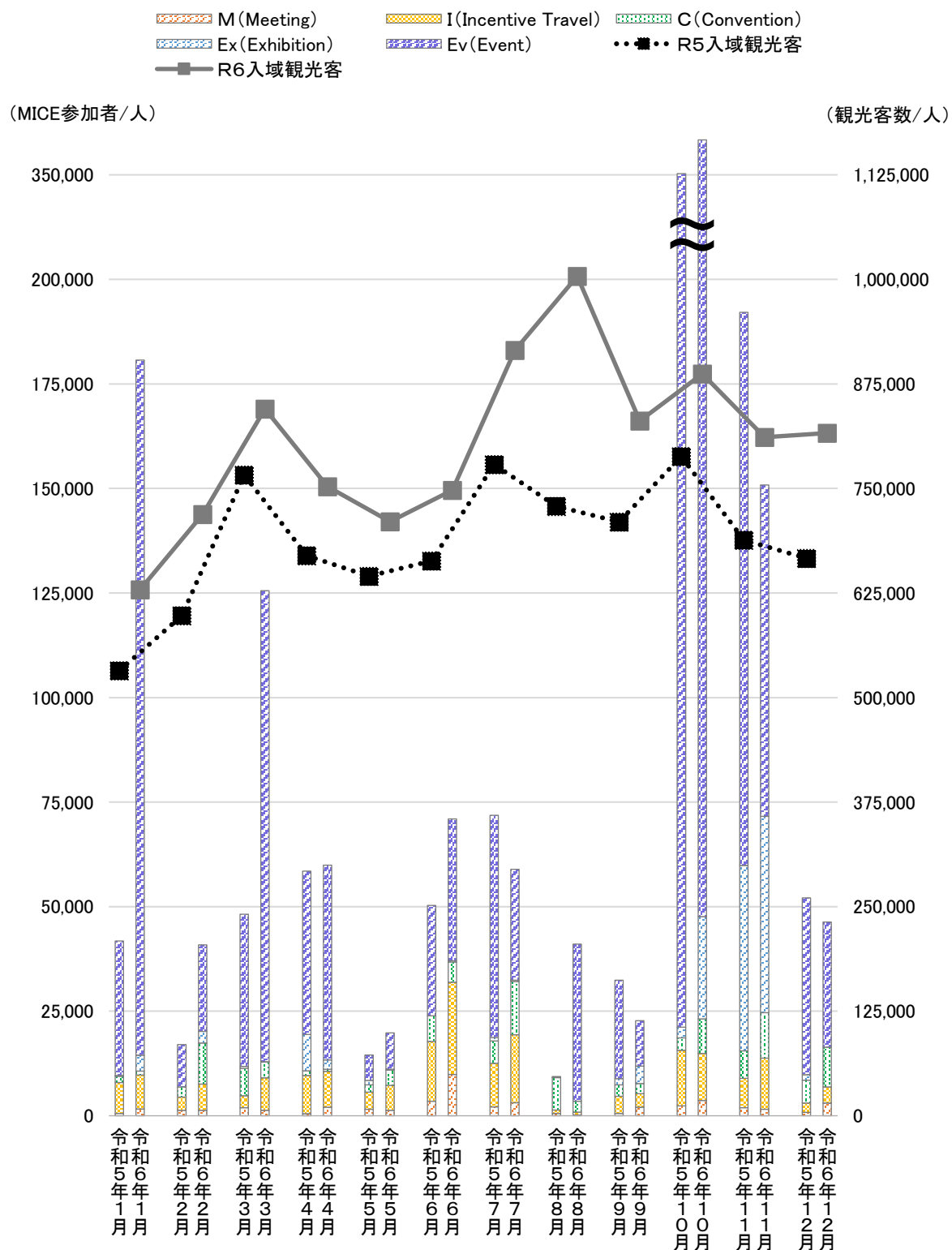
図表23. 令和5年 月別参加者数

(単位:MICE参加者数:人/入域観光客:千人)

		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
M	人数	17,685	548	1,296	1,953	473	1,571	3,484	2,118	553	577	2,372	1,936	804	0
	(%)	2%	3%	7%	11%	3%	9%	20%	12%	3%	3%	13%	11%	5%	0%
I	人数	79,702	7,410	3,196	2,842	9,142	4,065	14,253	10,432	837	4,075	13,306	7,020	2,219	905
	(%)	8%	9%	4%	4%	11%	5%	18%	13%	1%	5%	17%	9%	3%	1%
C	人数	50,291	1,466	2,377	6,517	1,132	1,770	6,198	5,333	7,745	2,722	2,968	6,558	5,505	0
	(%)	5%	3%	5%	13%	2%	4%	12%	11%	15%	5%	6%	13%	11%	0%
Ex	人数	60,965	210	0	500	8,690	1,025	0	820	16	1,507	2,551	44,378	1,268	0
	(%)	6%	0%	0%	1%	14%	2%	0%	1%	0%	2%	4%	73%	2%	0%
Ev	人数	735,779	32,148	10,165	36,403	39,050	6,077	26,352	53,162	250	23,567	334,099	132,221	42,285	0
	(%)	78%	4%	1%	5%	5%	1%	4%	7%	0%	3%	45%	18%	6%	0%
合計	人数	944,422	41,782	17,034	48,215	58,487	14,508	50,287	71,865	9,401	32,448	355,296	192,113	52,081	905
	(%)	100%	4%	2%	5%	6%	2%	5%	8%	1%	3%	38%	20%	6%	0%
県外・海外参加者数		221,936	15,636	6,668	16,376	22,356	7,110	26,355	19,311	3,262	7,479	50,172	32,412	13,894	905
内訳不明参加者数		18,020	0	50	43	0	0	30	0	0	15,200	1,947	550	200	0
入域観光客 (単位:千人)		8,235.4	532.2	597.9	766.2	669.8	645.2	663.4	778.8	728.6	710.1	788.3	688.2	666.7	-

※入域観光客数出典:「令和5年入域観光客統計概況」(沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課)

図表24. 令和5年及び令和6年 参加者数の月別推移



(3) 月別1件当たり平均参加者数

催事1件当たりの参加者数の平均は584人（前年比95%、28人減）となっている。全体の開催件数は過去最多となった一方、小規模催事の需要が前年比138%と拡大したことにより、平均参加者数は減少したと考えられる。

月平均では10月が最多（1,543人）で、次いで1月（1,434人）、8月（838人）の順となっている。

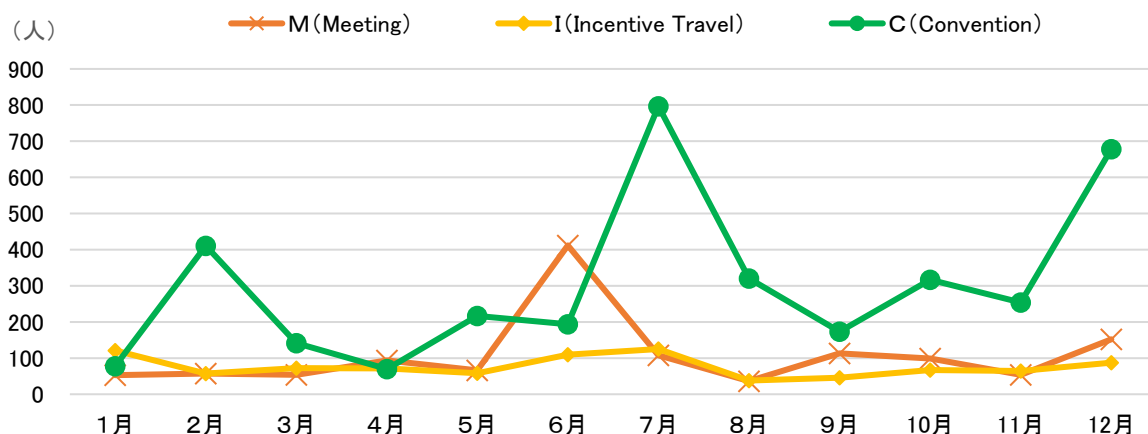
年平均は「Ev（Event）」が4,639人と最多で、次いで「Ex（Exhibition）」が2,748人である。

図表25. 令和6年 1件当たり平均参加者数

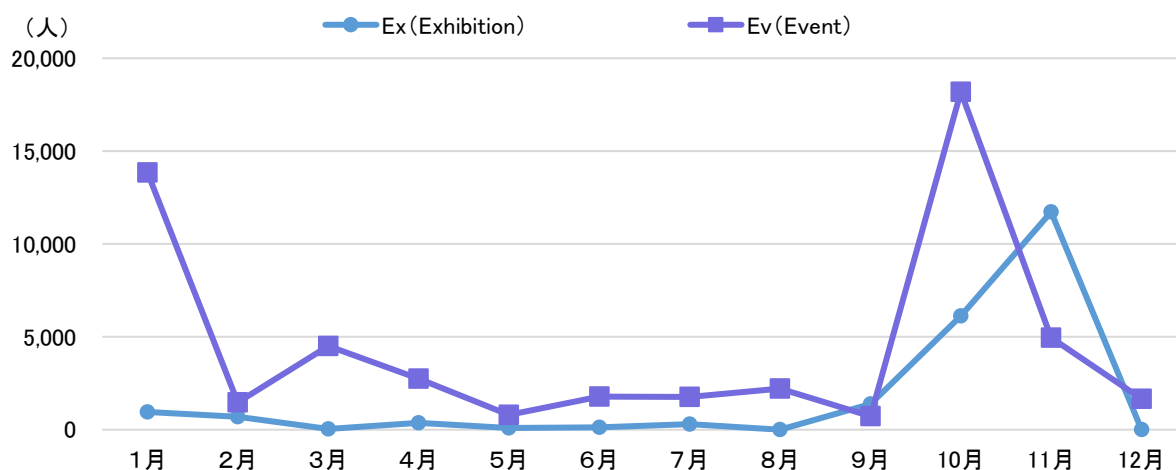
（単位：人）

	年平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
M	110	53	58	54	93	67	412	107	36	113	99	54	152
I	80	121	58	73	71	58	110	125	38	46	67	64	88
C	300	77	411	141	70	217	194	797	320	173	317	253	678
Ex	2,748	950	699	33	375	88	125	300	0	1,390	6,128	11,723	0
Ev	4,639	13,853	1,476	4,507	2,738	791	1,785	1,768	2,211	723	18,196	4,954	1,662
全体平均	584	1,434	236	683	348	130	262	309	838	188	1,543	535	482

図表26. 令和6年 月別1件当たり平均参加者数
(Meeting, Incentive Travel, Convention)



図表27. 令和6年 月別1件当たり平均参加者数 (Exhibition, Event)



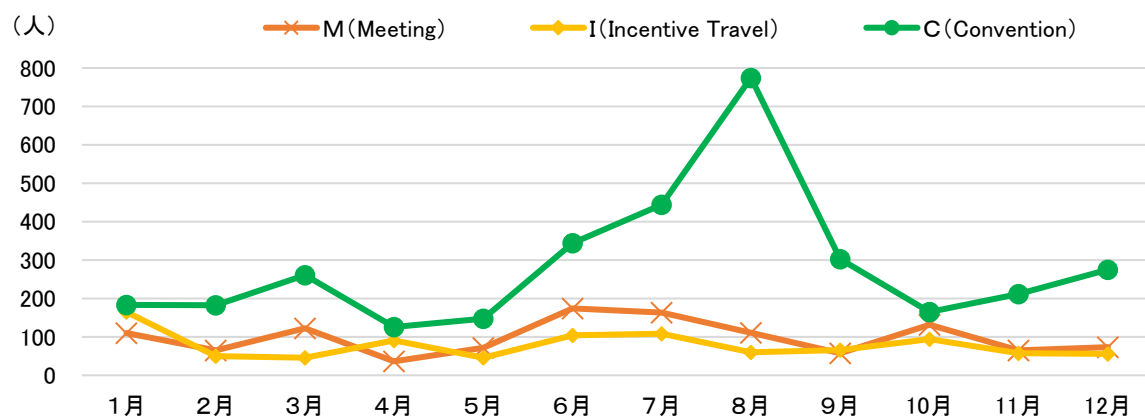
＜参考＞令和5年の月別1件当たり参加者数

図表28. 令和5年1件当たり参加者平均

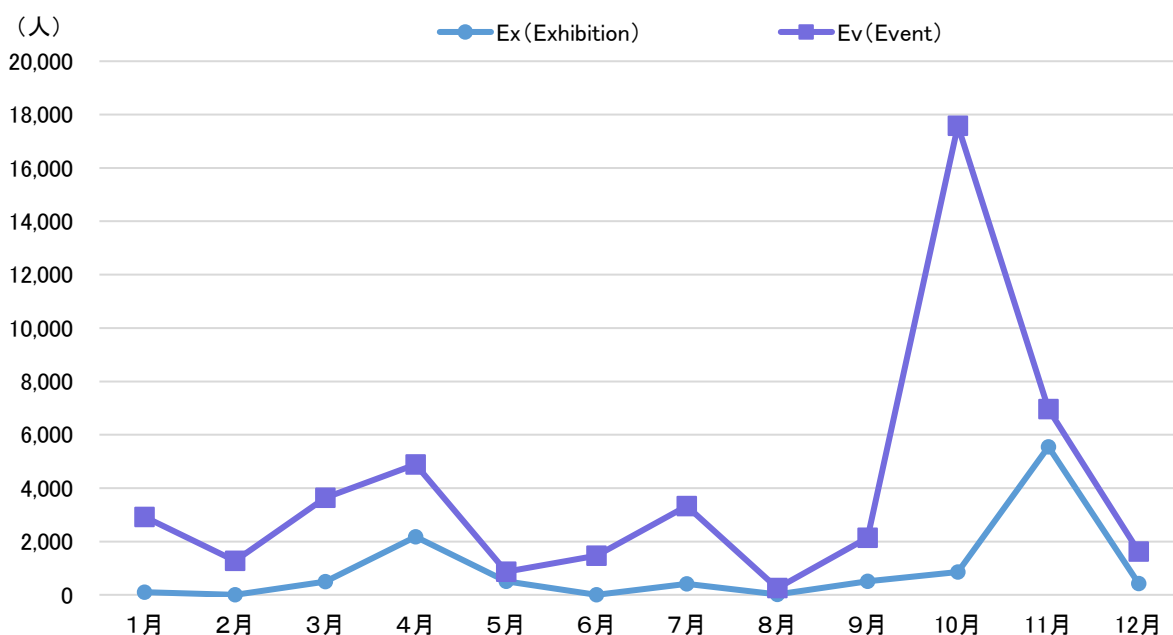
(単位:人)

	年平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
M	97	110	65	122	36	71	174	163	111	58	132	65	73	-
I	80	165	50	46	91	46	104	109	60	66	94	58	55	48
C	272	183	183	261	126	148	344	444	775	302	165	212	275	-
Ex	2,102	105	0	500	2,173	513	0	410	16	502	850	5,547	423	-
Ev	4,778	2,923	1,271	3,640	4,881	868	1,464	3,323	250	2,142	17,584	6,959	1,626	-
全体平均	612	588	162	423	433	110	261	517	303	342	1,776	915	521	48

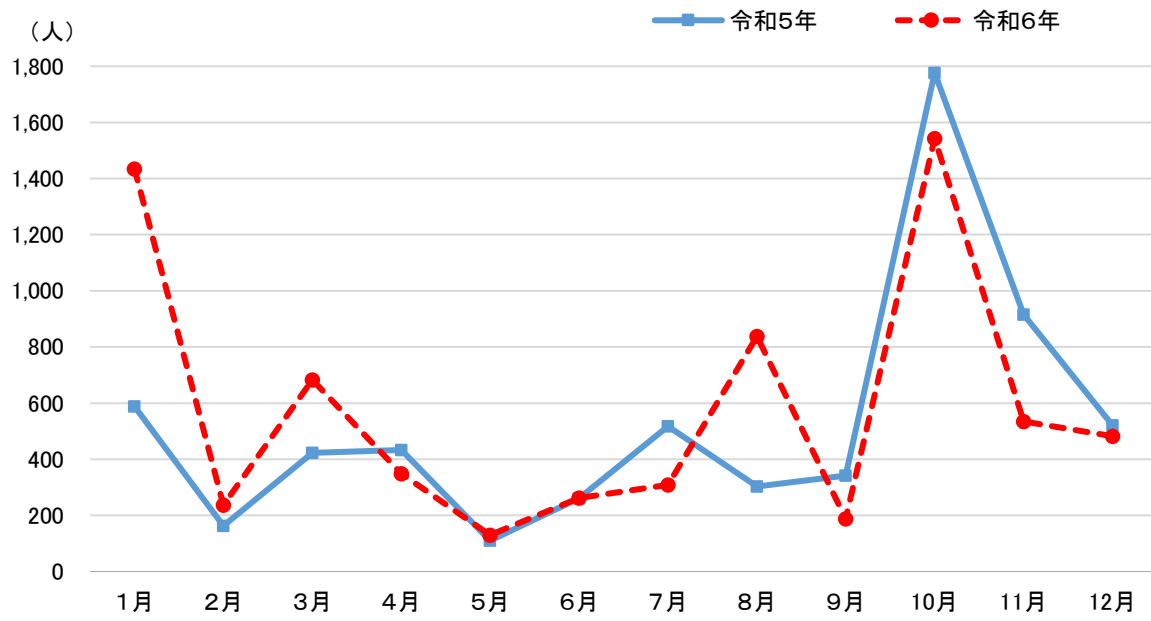
図表29. 令和5年 月別1件当たり平均参加者数
(Meeting, Incentive Travel, Convention)



図表30. 令和5年 月別1件当たり平均参加者数 (Exhibition, Event)



図表31. 月別1件当たり参加者数 全体平均 令和5年と令和6年の比較



1-5-4. 平均会期日数

(1) 平均会期日数

令和6年に開催されたMICE催事の平均会期日数は2.59日（前年比97%、0.08日減）となっている。このうち、海外参加者の多い催事は3.93日となっており、特に「C(Convention)」が4.94日と最長である。

なお、地域分布別の内訳について、複数地域からの参加者がいる催事は参加者数の最も多い地域区分（内訳不明を除く）にて算出し、重複がないようにした。また、参加者数が県内と県外で同数の催事は県外に、県外と海外で同数の催事は海外に、それぞれ区分して算出した。

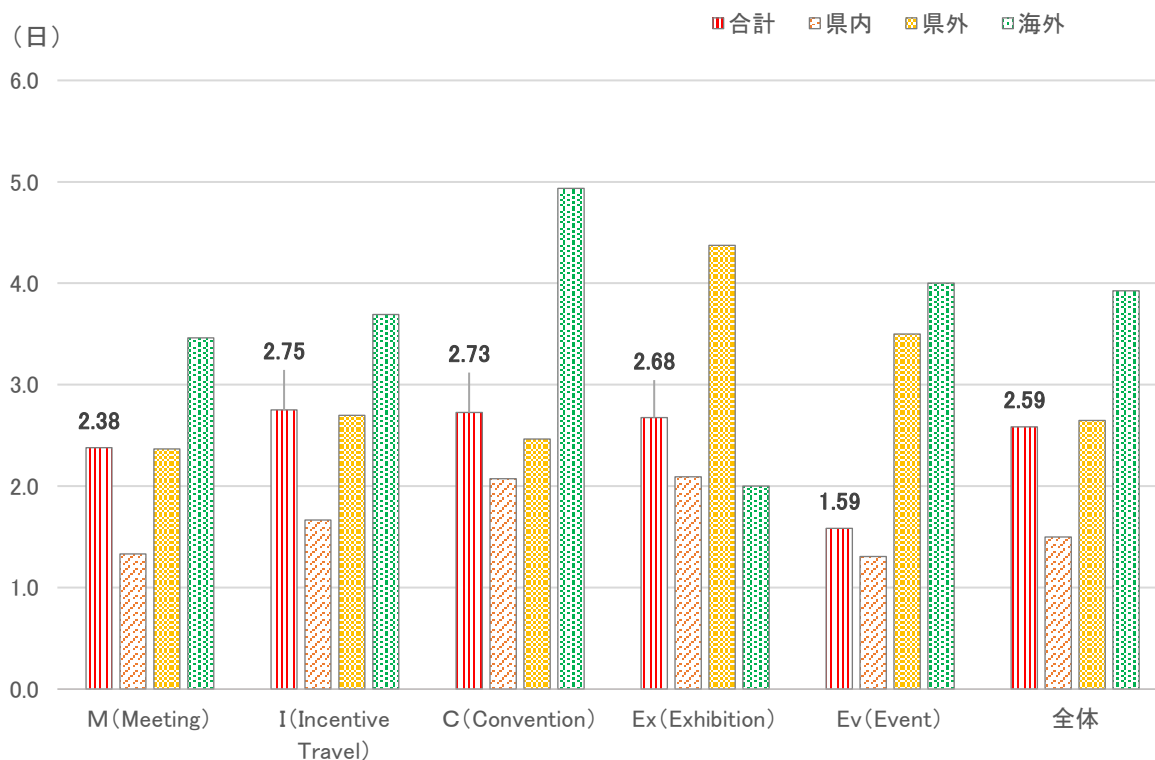
図表32. 令和6年 参加者の地域分布別 平均会期日数

(単位: 日)

	合計	県内	県外	海外
M(Meeting)	2.38	1.33	2.37	3.46
I(Incentive Travel)	2.75	1.67	2.70	3.69
C(Convention)	2.73	2.07	2.47	4.94
Ex(Exhibition)	2.68	2.09	4.38	2.00
Ev(Event)	1.59	1.31	3.50	4.00
全体	2.59	1.50	2.65	3.93

※本事業における会期日数とは催事日数のみを指しており、前後の滞在は含まないこととする。

図表33. 令和6年 参加者の地域分布別 平均会期日数

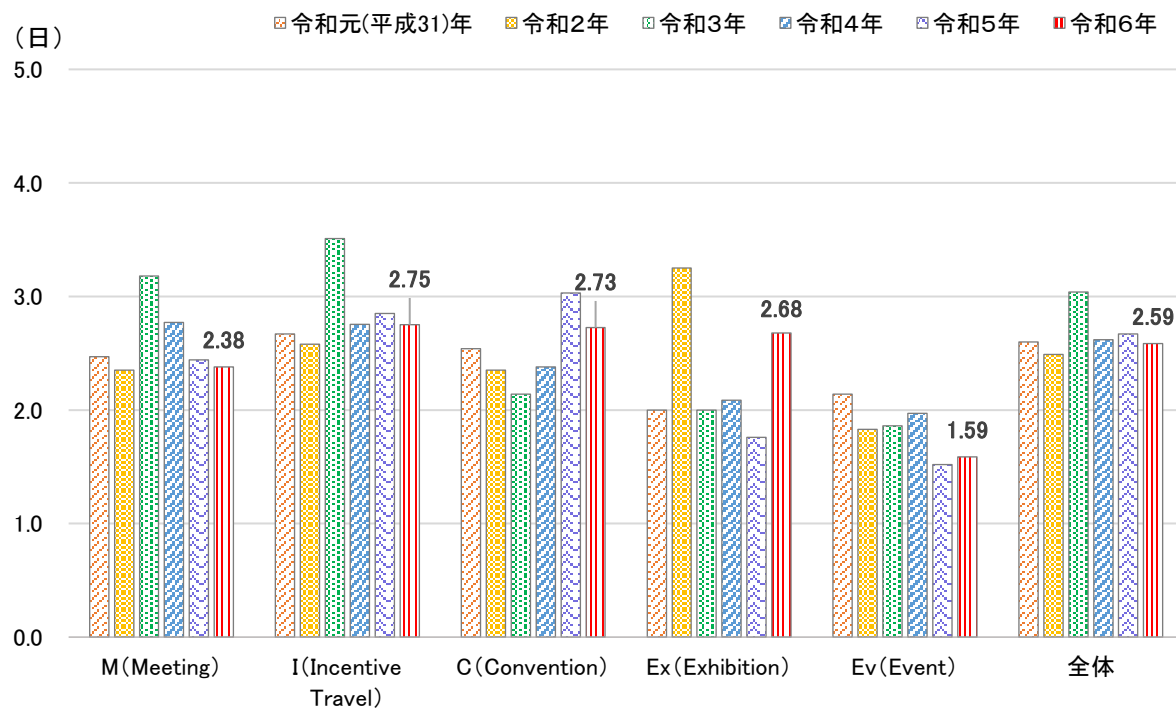


図表34. 平均会期日数の推移【令和元年～令和6年】

(単位:日)

	令和元 (平成31)年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
M(Meeting)	2.47	2.35	3.18	2.77	2.44	2.38
I(Incentive Travel)	2.67	2.58	3.51	2.75	2.85	2.75
C(Convention)	2.54	2.35	2.14	2.38	3.03	2.73
Ex(Exhibition)	2.00	3.25	2.00	2.09	1.76	2.68
Ev(Event)	2.14	1.83	1.86	1.97	1.52	1.59
全体	2.60	2.49	3.04	2.62	2.67	2.59

図表35. 平均会期日数の推移【令和元年～令和6年】



1-5-5. 参加者区分別開催実態

(1) 参加者の地域分布

令和6年に開催されたMICE催事の参加者数は合計で1,211,156人（前年比128%、266,734人増）となっている。このうち、県外参加者は229,053人（前年比108%、17,273人増）、海外参加者は34,571人（前年比340%、24,415人増）となっている。

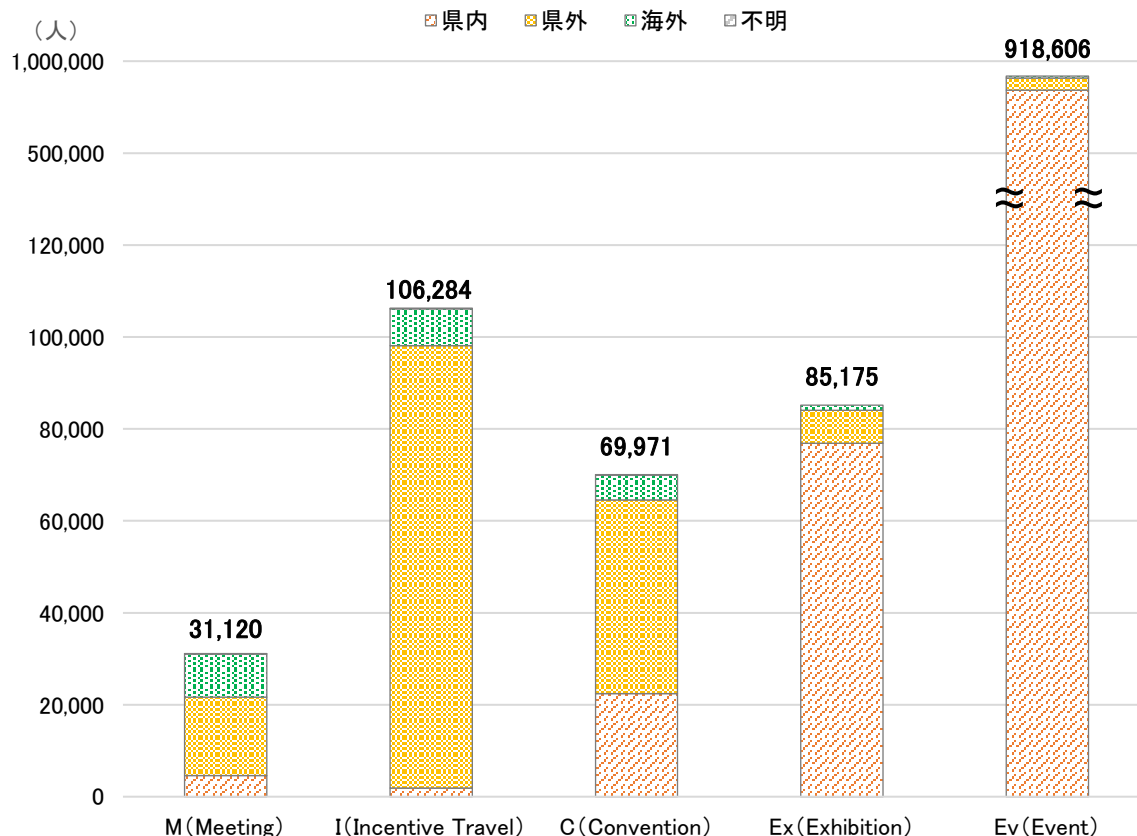
催事別で見ると、「I（Incentive Travel）」参加者全体の91%を県外参加者が占め、前年と同程度となった。また、「M（Meeting）」参加者全体の30%を海外参加者が占めており、これは海外主催者の催事が複数開催されたことに起因している。

図表36. 令和6年 参加者の地域分布

（単位：人）

		合計	県内	県外	海外	不明
M(Meeting)	人数	31,120	4,579	17,088	9,409	44
	(%)	100%	15%	55%	30%	0%
I(Incentive Travel)	人数	106,284	1,895	96,220	7,995	174
	(%)	100%	2%	91%	8%	0%
C(Convention)	人数	69,971	22,441	42,099	5,429	2
	(%)	100%	32%	60%	8%	0%
Ex(Exhibition)	人数	85,175	76,849	7,222	1,104	0
	(%)	100%	90%	8%	1%	0%
Ev(Event)	人数	918,606	841,548	66,424	10,634	0
	(%)	100%	92%	7%	1%	0%
合計	人数	1,211,156	947,312	229,053	34,571	220
	(%)	100%	78%	19%	3%	0%

図表37. 令和6年 参加者の地域分布



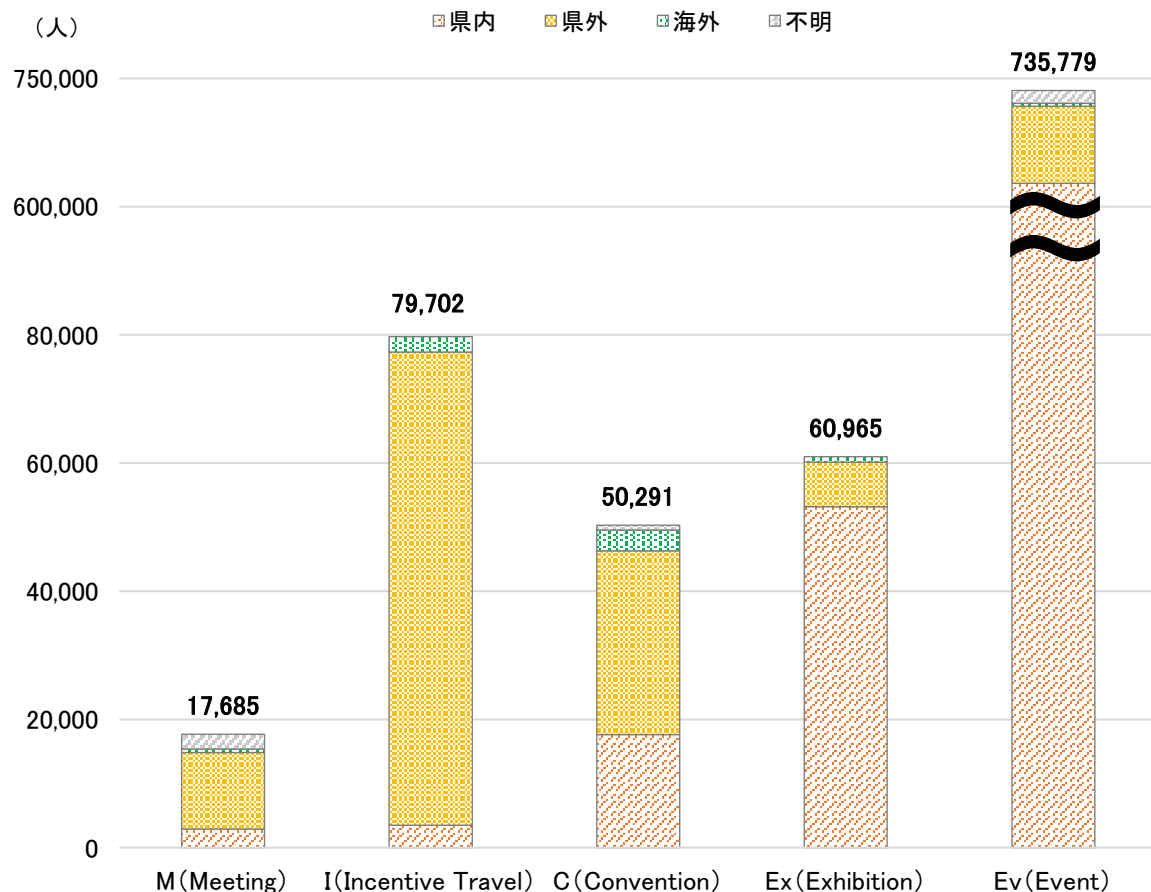
<参考> 令和5年 参加者の地域分布

図表38. 令和5年 参加者の地域分布

(単位:人)

		合計	県内	県外	海外	不明
M(Meeting)	人数	17,685	2,900	11,936	579	2,270
	(%)	100%	16%	67%	3%	13%
I(Incentive Travel)	人数	79,702	3,526	73,806	2,370	0
	(%)	100%	4%	93%	3%	0%
C(Convention)	人数	50,291	17,634	28,655	3,252	750
	(%)	100%	35%	57%	6%	1%
Ex(Exhibition)	人数	60,965	53,208	6,947	810	0
	(%)	100%	87%	11%	1%	0%
Ev(Event)	人数	735,779	627,198	90,436	3,145	15,000
	(%)	100%	85%	12%	0%	2%
合計	人数	944,422	704,466	211,780	10,156	18,020
	(%)	100%	75%	22%	1%	2%

図表39. 令和5年 参加者の地域分布



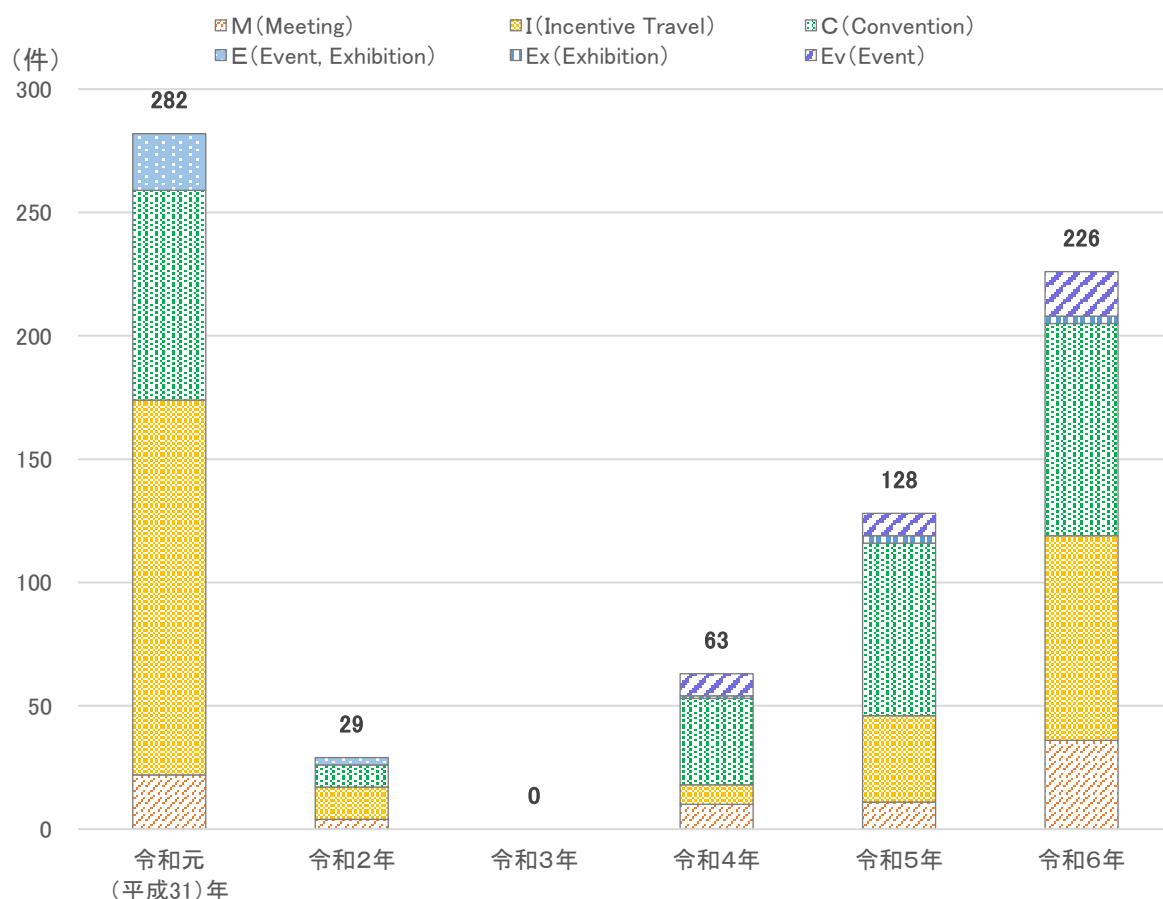
(2) 海外参加者を伴う催事の開催件数

令和6年において、海外からの参加があった催事は226件（前年比177%）であり、コロナ禍前の令和元（平成31）年と比較して80%まで回復したことが確認できた。

図表40. 海外参加者を伴う催事の開催件数【令和元年～令和6年】

	令和元 (平成31)年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	(前年比)
M(Meeting)	22	8%	4	14%	0	0%	10	16%	11	9%	36	16%	327%
I(Incentive Travel)	152	54%	13	45%	0	0%	8	13%	35	27%	83	37%	237%
C(Convention)	85	30%	9	31%	0	0%	35	56%	70	55%	86	38%	123%
E(Exhibition, Event)	23	8%	3	10%	0	0%	10	16%	12	9%	21	9%	175%
Ex(Exhibition)	—	—	—	—	—	—	1	2%	3	2%	3	1%	100%
Ev(Event)	—	—	—	—	—	—	9	14%	9	7%	18	8%	200%
合計	282		29		0		63		128		226		
(参考) 全体件数	1,638		490		273		958		1,544		2,073		
(海外から参加があった催事の割合)	(17%)		(6%)		(0%)		(7%)		(8%)		(11%)		

図表41. 海外参加者を伴う催事の開催件数推移【令和元年～令和6年】



1-5-6. その他区分別の開催実態

(1) 産業別開催件数・参加者数

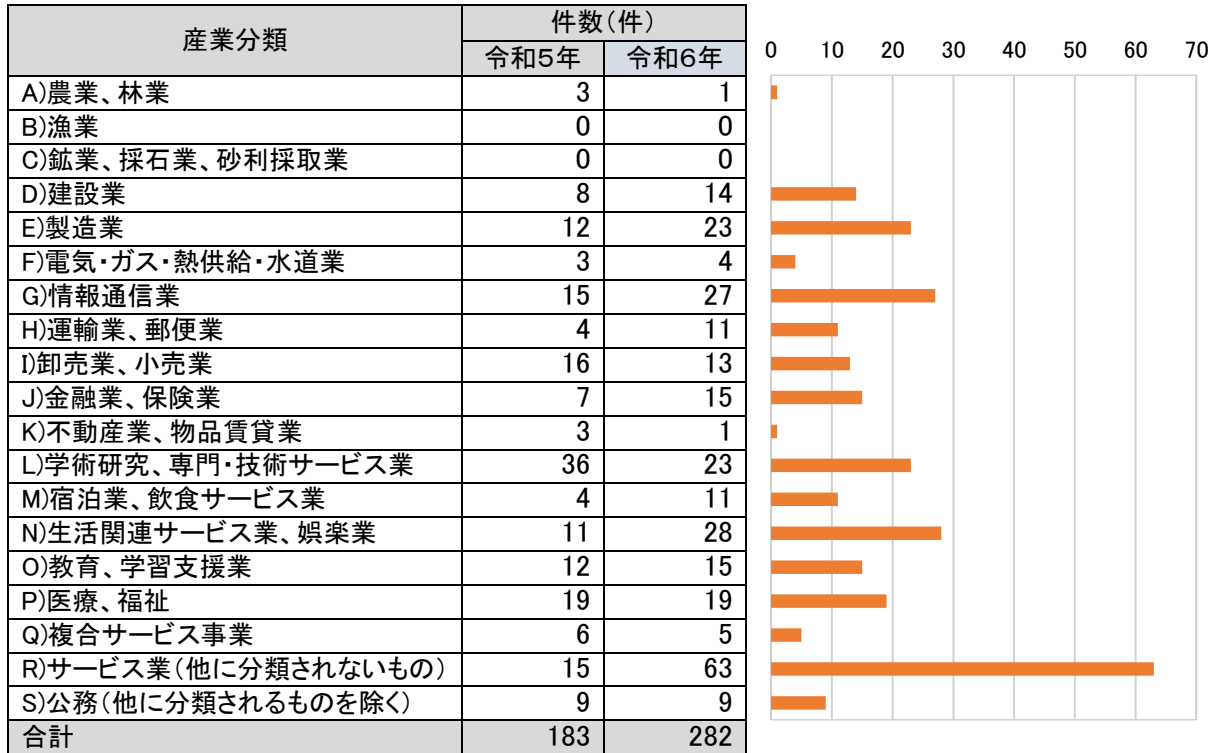
本項では開催件数及び参加者数について、「M (Meeting)」、「I (Incentive Travel)」、「Ex (Exhibition)」、「Ev (Event)」は日本標準産業分類(中分類)に準じ、「C (Convention)」については日本政府観光局 (JNTO) の発行する「国際会議統計」における会議分類に準じた分類により区分けを行っている。

催事別の結果は、次ページ以降に整理する。

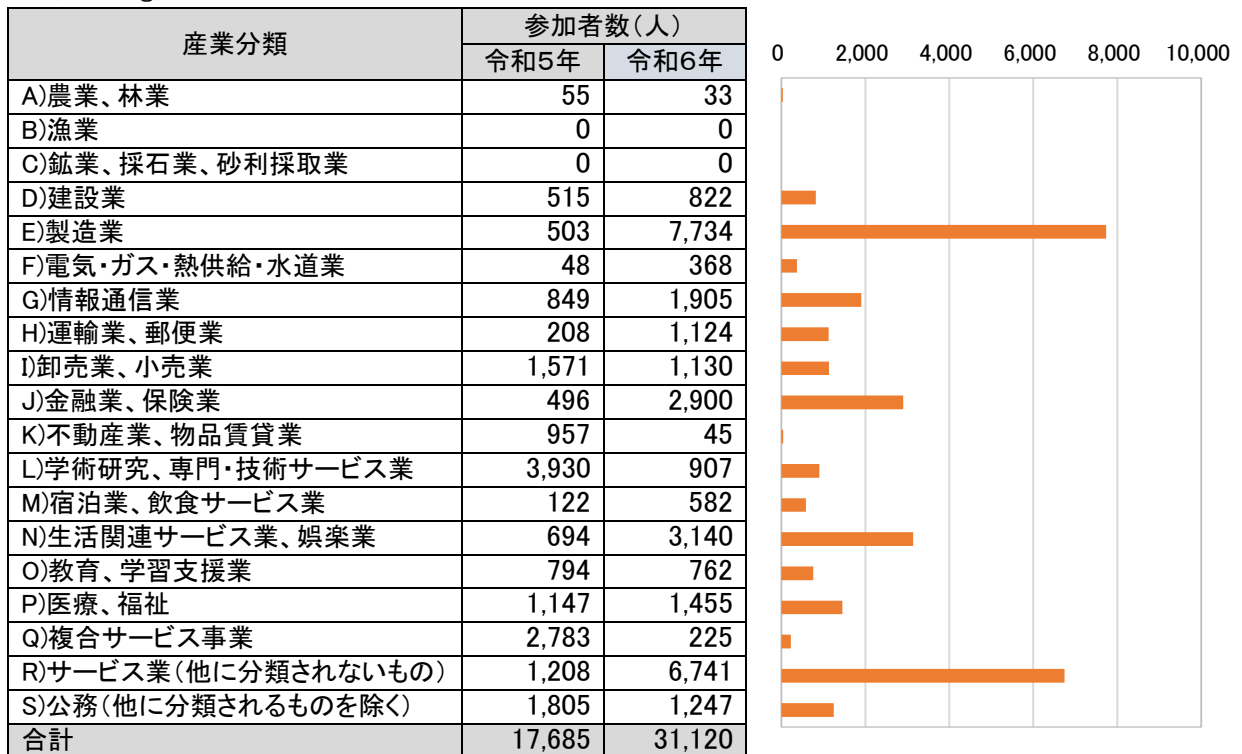
「M (Meeting)」については、開催件数は「R」サービス業（他に分類されないもの）」が、参加者数は「E」製造業」が最多となった。また、多くの産業分野において増加傾向にある。

図表42. 令和6年産業別開催件数・参加者数【Meeting】

M (Meeting)



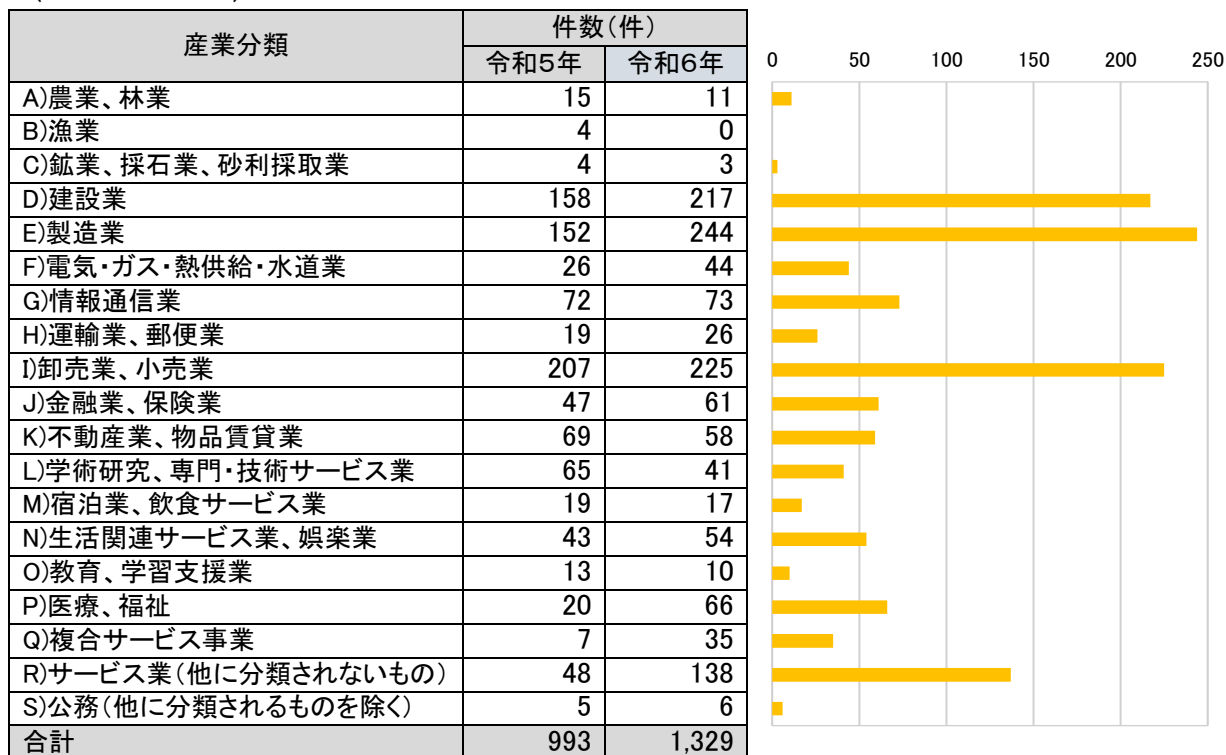
M (Meeting)



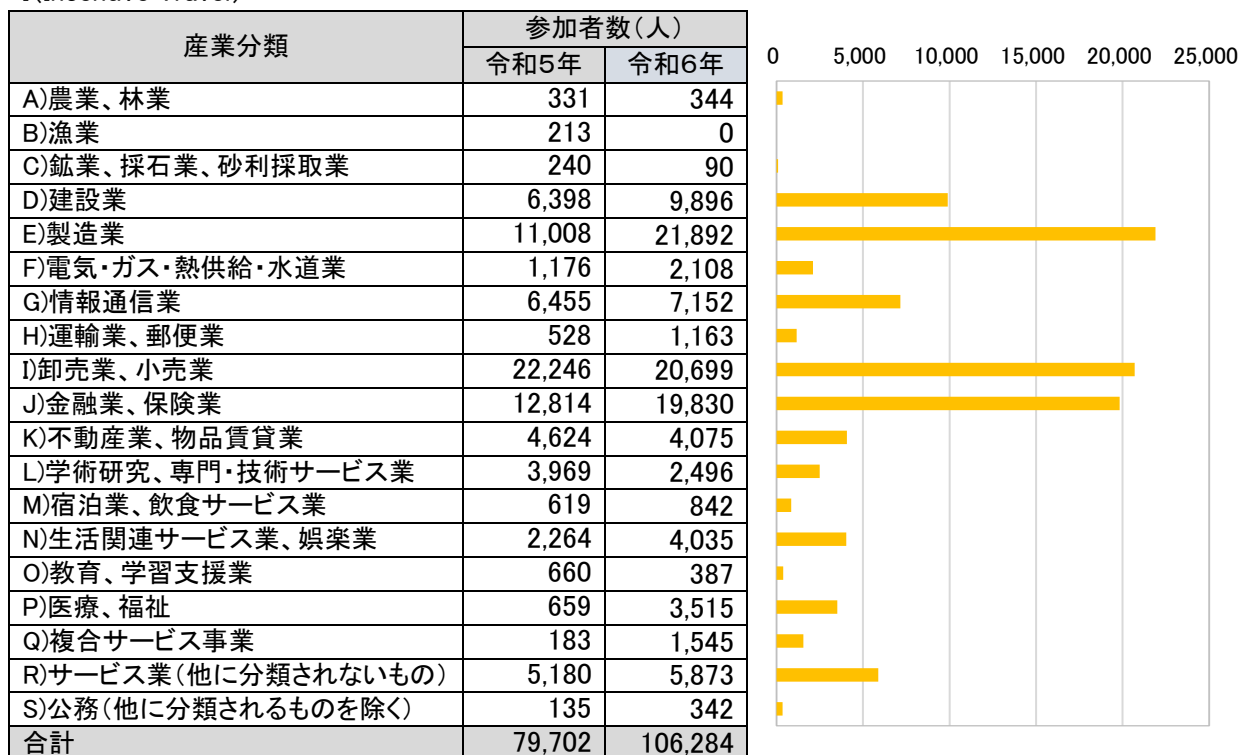
「I (Incentive Travel)」の開催件数は、令和5年と同様に「E) 製造業」、「I) 卸売業、小売業」、「D) 建設業」が上位3位（構成比52%）を占めている。また、参加者数においては「E) 製造業」、「I) 卸売業、小売業」、「J) 金融業、保険業」が上位3位（構成比59%）を占め、人数増加も顕著であった。

図表43. 令和6年産業別開催件数・参加者数【Incentive Travel】

I(Incentive Travel)



I(Incentive Travel)

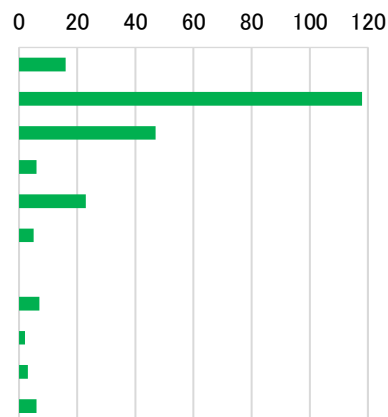


「C (Convention)」については、「2) 科学・技術・自然」、「3) 医学」分野で件数が多く、参加者数においても上記2分野で46,241人と全体の66%を占めている。

図表44. 令和6年産業別開催件数・参加者数【Convention】

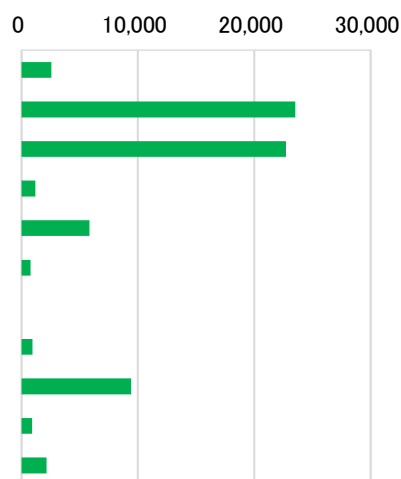
C(Convention)

会議分野	件数(件)	
	令和5年	令和6年
1)政治・経済・法律	5	16
2)科学・技術・自然	104	118
3)医学	49	47
4)産業	6	6
5)芸術・文化・教育	11	23
6)社会	3	5
7)運輸・観光	0	0
8)社交・親善	2	7
9)宗教	4	2
10)スポーツ ※セミナーや講演会などがある場合	0	3
11)その他	1	6
合計	185	233



C(Convention)

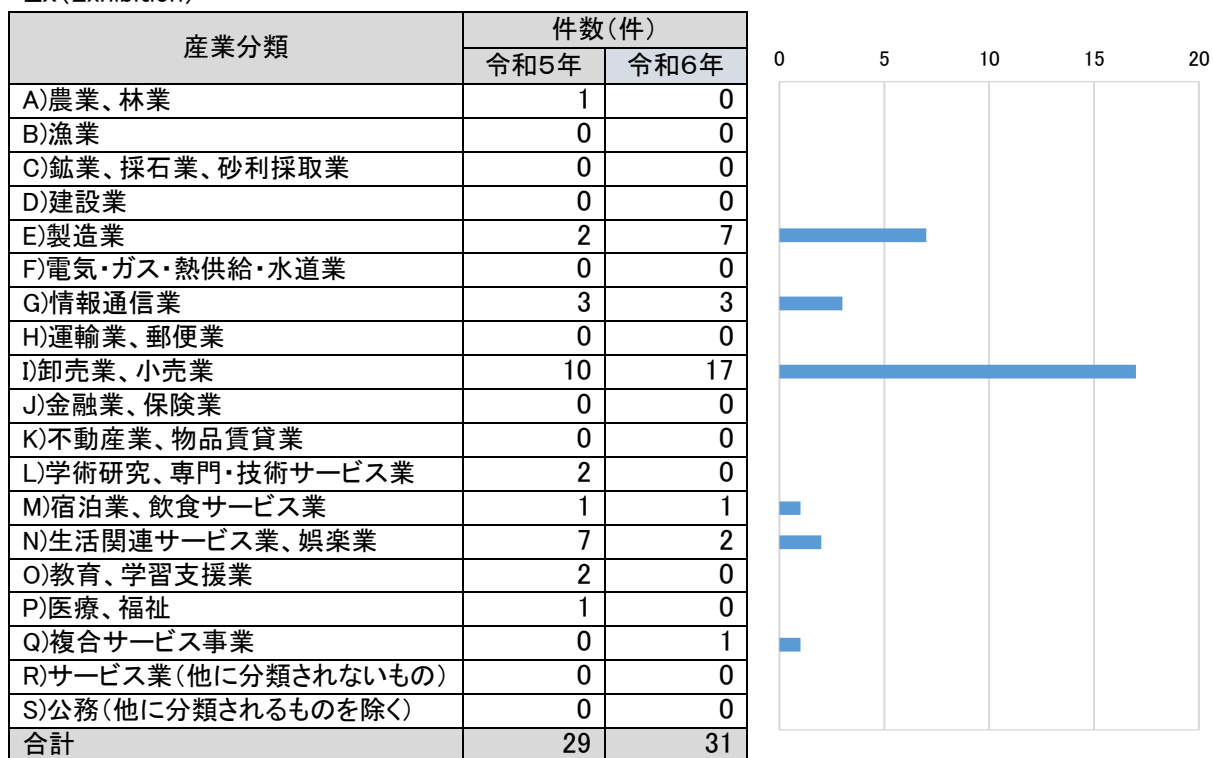
会議分野	参加者数(人)	
	令和5年	令和6年
1)政治・経済・法律	691	2,549
2)科学・技術・自然	21,037	23,514
3)医学	19,152	22,727
4)産業	1,069	1,180
5)芸術・文化・教育	2,956	5,834
6)社会	430	763
7)運輸・観光	0	0
8)社交・親善	550	934
9)宗教	4,356	9,410
10)スポーツ ※セミナーや講演会などがある場合	0	900
11)その他	50	2,160
合計	50,291	69,971



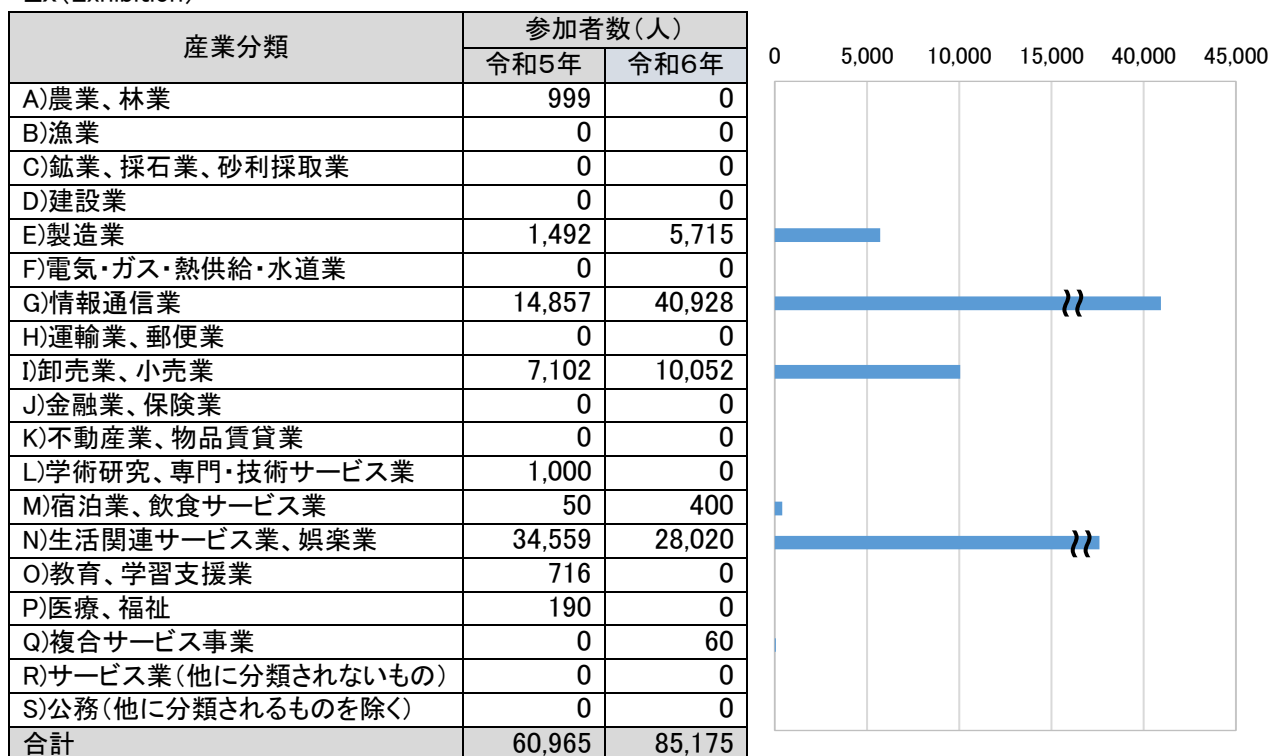
「Ex (Exhibition)」全体の件数は令和5年と比較して2件増加に留まったものの、全体の参加者数については24,210人増となった。「G) 情報通信業」分野は令和5年と同件数だが参加者数の増加(40,928人、前年比275%、26,071人増)が顕著であり、全体の48%を占めている。

図表45. 令和6年産業別開催件数・参加者数【Exhibition】

Ex(Exhibition)



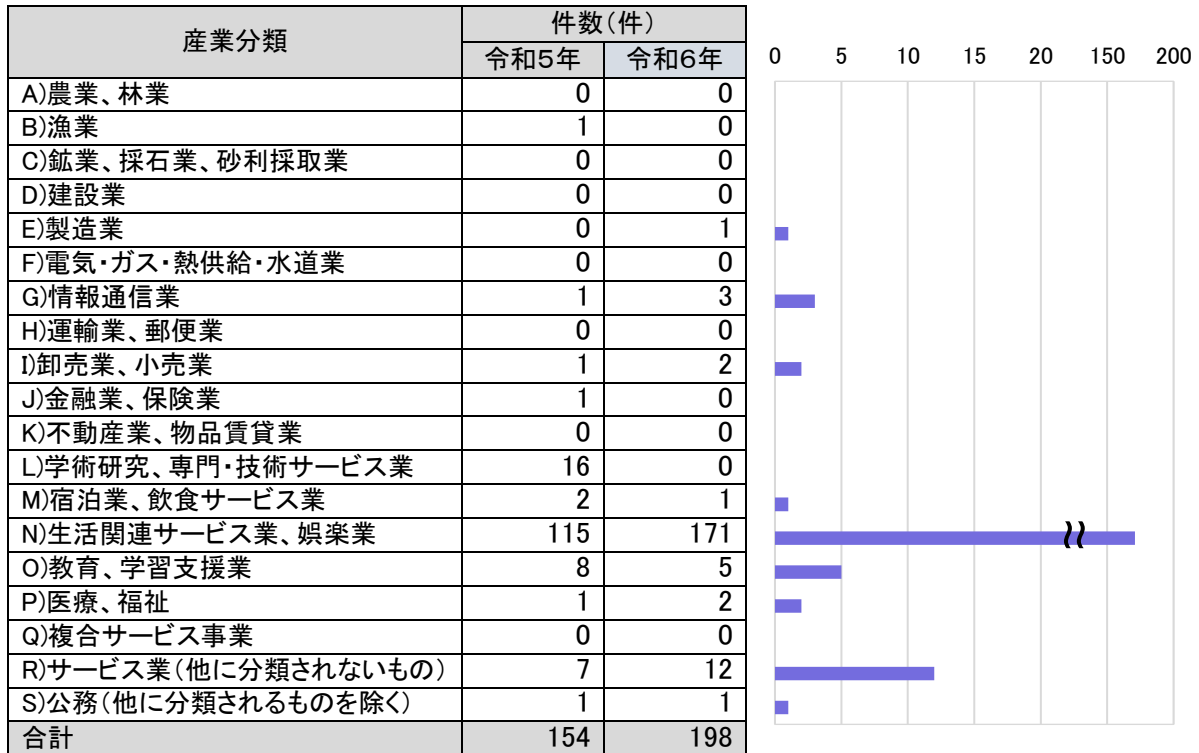
Ex(Exhibition)



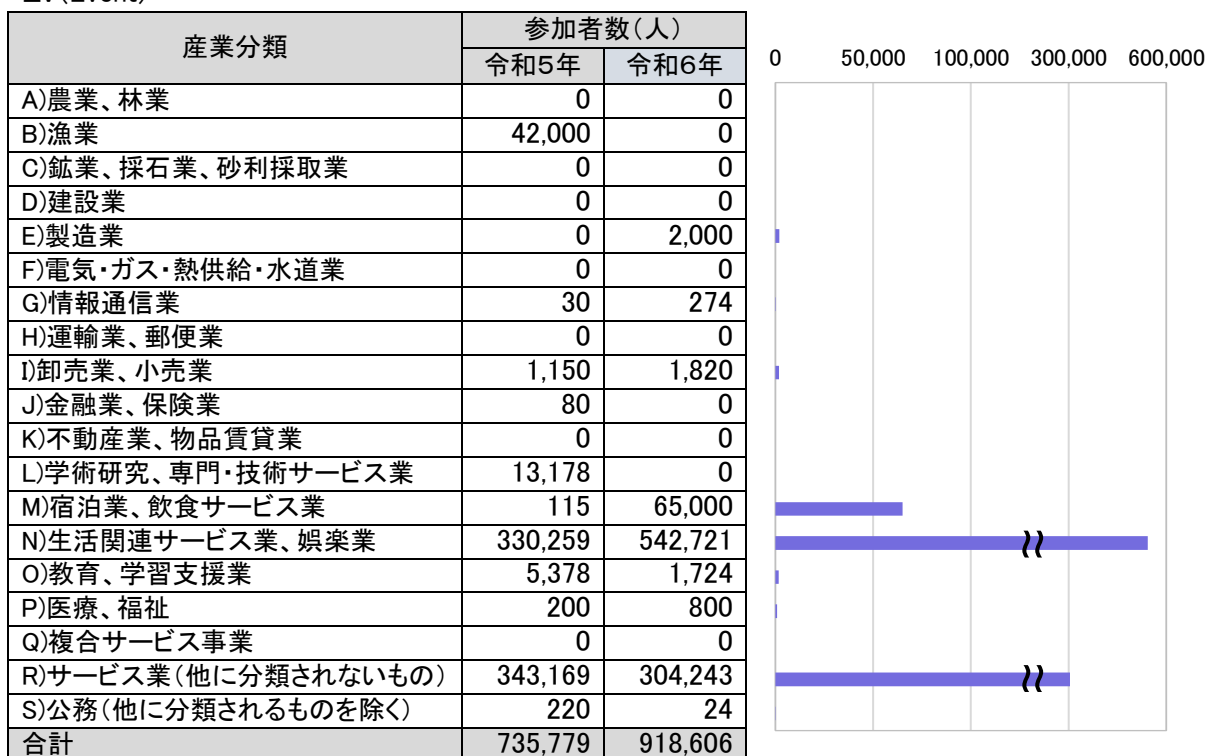
「Ev (Event)」については、「N) 生活関連サービス業、娯楽業」分野の件数が最多で全体の 86%を占めている。また、「N) 生活関連サービス業、娯楽業」「R) サービス業（他に分類されないもの）」分野で参加者数が多く、全体の 92%を占めている。コンサートやライブ等、1,000 人以上の大規模催事が多く確認できた。

図表46. 令和6年産業別開催件数・参加者数【Event】

Ev(Event)



Ev(Event)



(2) 参加者の主な出発地

参加者の主な出発地は、東京都が 572 件と最多で、次いで沖縄県の 344 件、大阪府の 180 件の順であった。MICE 開催件数のうち多くを占める「I (Incentive Travel)」については、東京都及び大阪府の企業で開催件数が前年と比較して多くなっていることに加え、令和 5 年と同様に全都道府県からの来訪が確認できた。

なお、中部地方では定期直行便が運航している空港が限られているにもかかわらず、中部地方を出発地とした開催件数合計は 225 件であり、前年比 196%と大きく上昇している。中部地方には岐阜県や長野県、山梨県のように、いわゆる「海なし県」も多く、特に「I (Incentive Travel)」で沖縄の持つ豊かな海洋・自然資源が強い魅力として機能した可能性がある。

また、海外案件も 119 件（前年比 243%）と大きく増加している。特に東アジアの案件が多く、図表 47 のとおり韓国 35 件（8 位）、台湾 21 件（15 位）、中国 21 件（16 位）となった。同伴数の台湾と中国は、参加者数の大小により順位を分けている。

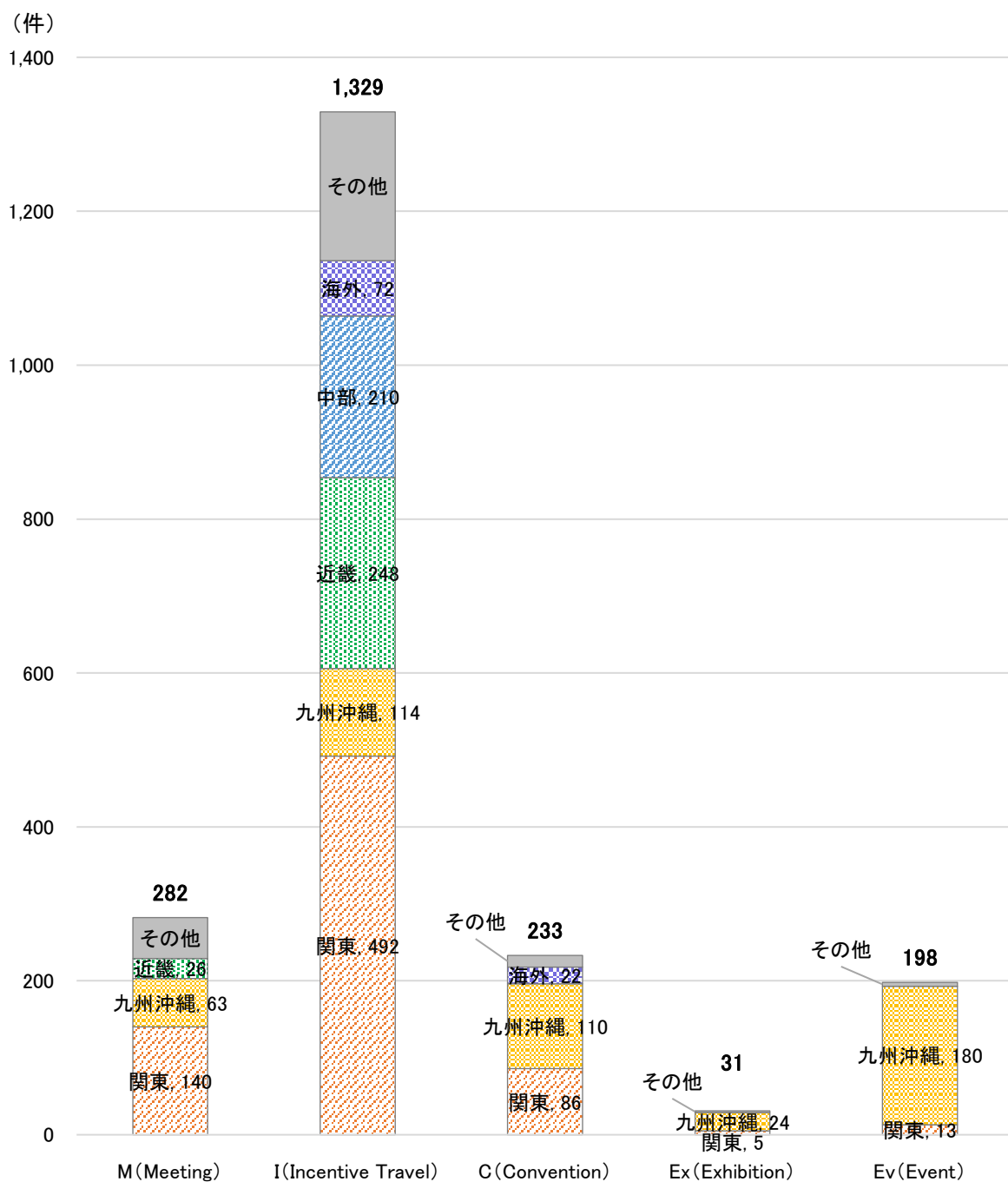
図表 47. 令和 6 年 参加者出発地別開催件数

	都道府県	地方	開催件数		M (Meeting)	I(Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
			件数	前年比					
1	東京都	関東	572	138%	125	353	76	5	13
2	沖縄県	九州沖縄	344	114%	40	7	93	24	180
3	大阪府	近畿	180	128%	21	157	1	0	1
4	愛知県	中部	118	182%	3	111	3	0	1
5	福岡県	九州沖縄	90	127%	18	58	14	0	0
6	北海道	北海道	72	136%	10	60	2	0	0
7	神奈川県	関東	53	156%	8	42	3	0	0
8	韓国	海外	35	219%	3	29	3	0	0
9	埼玉県	関東	34	142%	1	32	1	0	0
10	千葉県	関東	33	157%	5	27	1	0	0
11	兵庫県	近畿	32	152%	1	29	1	1	0
12	広島県	中国	30	111%	7	22	1	0	0
13	岐阜県	中部	23	383%	0	23	0	0	0
14	京都府	近畿	22	76%	3	17	2	0	0
15	台湾	海外	21	150%	6	12	2	1	0
16	中国	海外	21	420%	5	15	1	0	0
17	静岡県	中部	21	263%	1	19	1	0	0
18	岡山県	中国	20	111%	0	20	0	0	0
19	宮城県	東北	20	125%	1	19	0	0	0
20	茨城県	関東	18	300%	1	12	5	0	0
21	富山県	中部	18	360%	0	18	0	0	0
22	熊本県	九州沖縄	16	114%	2	14	0	0	0
23	三重県	近畿	14	127%	0	13	1	0	0
24	和歌山県	近畿	14	233%	0	14	0	0	0
25	大分県	九州沖縄	14	350%	1	12	1	0	0
26	愛媛県	四国	13	325%	0	13	0	0	0
27	群馬県	関東	13	217%	0	13	0	0	0
28	栃木県	関東	13	217%	0	13	0	0	0
29	香川県	四国	12	109%	0	12	0	0	0
30	奈良県	近畿	12	200%	1	11	0	0	0
31	新潟県	中部	12	200%	1	10	0	0	1
32	アメリカ	海外	11	122%	1	4	6	0	0
33	青森県	東北	11	138%	1	10	0	0	0
34	鹿児島県	九州沖縄	10	167%	0	9	1	0	0
35	長野県	中部	10	200%	0	10	0	0	0
36	石川県	中部	9	64%	3	6	0	0	0
37	福井県	中部	9	180%	1	8	0	0	0
38	香港	海外	9	—	2	5	2	0	0
39	岩手県	東北	8	114%	2	6	0	0	0
40	宮崎県	九州沖縄	8	133%	0	7	1	0	0
41	福島県	東北	8	67%	0	7	1	0	0
42	滋賀県	近畿	7	88%	0	7	0	0	0
43	山口県	中国	7	70%	0	6	1	0	0
44	シンガポール	海外	6	—	3	3	0	0	0
45	山梨県	中部	5	500%	0	5	0	0	0

	都道府県	地方	開催件数		M (Meeting)	I(Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
			件数	前年比					
46	山形県	東北	5	125%	0	3	1	0	1
47	長崎県	九州沖縄	5	167%	1	4	0	0	0
48	イギリス	海外	4	—	0	0	4	0	0
49	タイ	海外	4	—	0	3	1	0	0
50	鳥取県	中国	4	133%	0	4	0	0	0
51	佐賀県	九州沖縄	4	44%	1	3	0	0	0
52	高知県	四国	4	133%	0	4	0	0	0
53	オーストラリア	海外	3	—	1	1	0	0	1
54	徳島県	四国	3	43%	0	3	0	0	0
55	秋田県	東北	2	67%	0	2	0	0	0
56	島根県	中国	2	40%	0	2	0	0	0
57	海外	海外	5	—	2	0	3	0	0
	合計		2,073	134%	282	1,329	233	31	198

※No.57 海外の内訳:ドイツ、カナダ、マレーシア、イタリア、エジプト

図表48. 令和6年 参加者出発地別開催件数



(3) エリア別・市町村別開催件数

エリア別開催件数は、本島南部が 752 件と最多で、次いで本島北部が 611 件となっている。
市町村別開催件数は、那覇市が 611 件と最多で、次いで恩納村 (294 件)、石垣市 (258 件) の順となっている。

那覇市は、全催事分類において件数が最多である。

市町村別開催件数 (図表 52.) では、例年「I (Incentive Travel)」の開催件数が多い市町村が上位を占める傾向にあり、令和 6 年も同様の傾向であった。市町村別実績でみると、「I (Incentive Travel)」は那覇市が 294 件 (22%) と最多で、次いで恩納村が 218 件 (16%)、石垣市が 214 件 (16%)、名護市が 200 件 (15%)、宮古島市が 113 件 (9%) の順となっており、これは開催件数全体の上位 5 市町村と同一である。一方、開催件数全体で 6 位の宜野湾市および 9 位の沖縄市については、大規模な収容人数の会議施設を有す地域特性から、宜野湾市は「M (Meeting)」、沖縄市は「Ev (Event)」がそれぞれ最多となっている。

図表49. 令和 6 年 エリア別開催件数

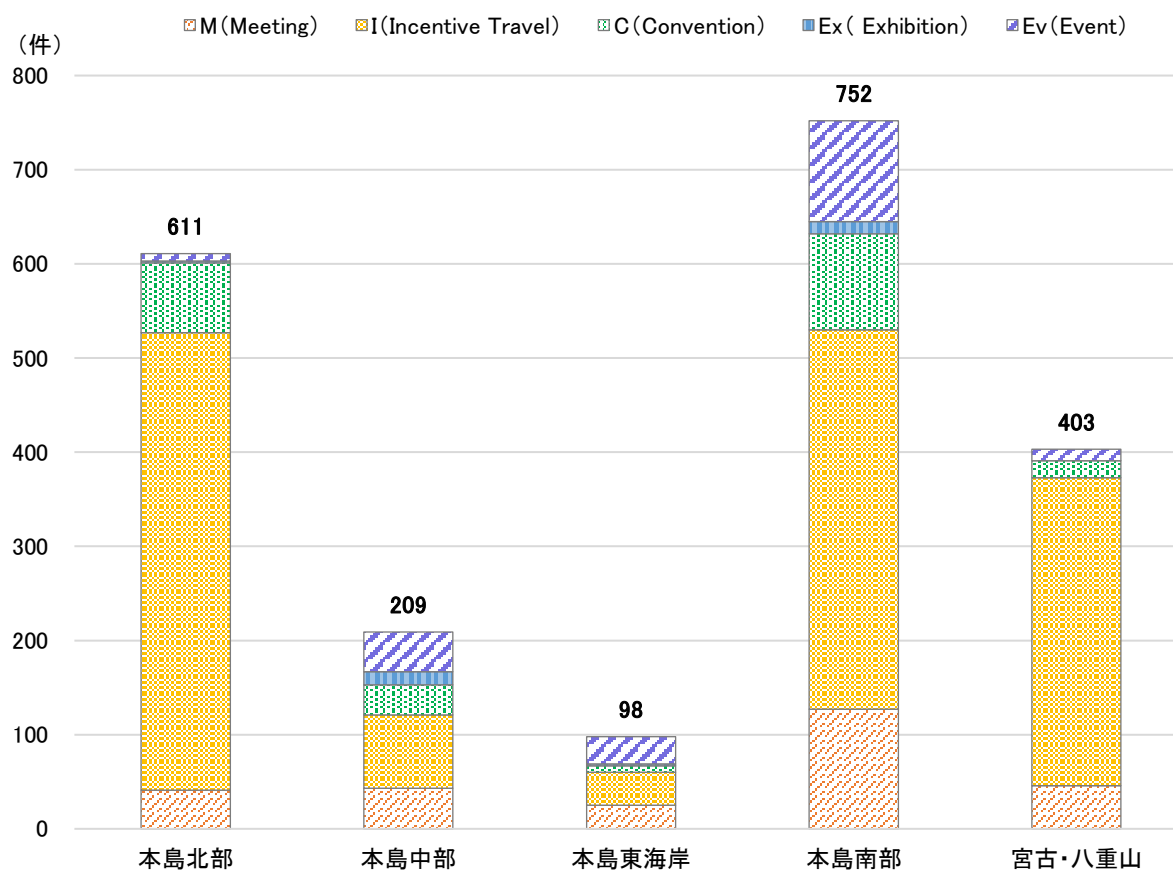
(単位:件)

エリア区分	件数	M (Meeting)	I(Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
本島北部	611	41	486	74	2	8
本島中部	209	43	78	32	14	42
本島東海岸	98	25	35	7	2	29
本島南部	752	127	403	102	13	107
宮古・八重山	403	46	327	18	0	12
計	2,073	282	1,329	233	31	198

図表50. エリア区分一覧

本島北部		本島中部	本島東海岸	本島南部		宮古・ 八重山
名護市	宜野座村	宜野湾市	沖縄市	那覇市	渡嘉敷村	宮古島市
国頭村	金武町	浦添市	うるま市	糸満市	座間味村	多良間村
大宜味村	伊江村	読谷村	南城市	豊見城市	粟国村	石垣市
東村	伊平屋村	嘉手納町	北中城村	南風原町	渡名喜村	竹富町
今帰仁村	伊是名村	北谷町	中城村	八重瀬町	南大東村	与那国町
本部町			西原町	久米島町	北大東村	
恩納村			与那原町			

図表51. 令和6年 エリア別開催件数

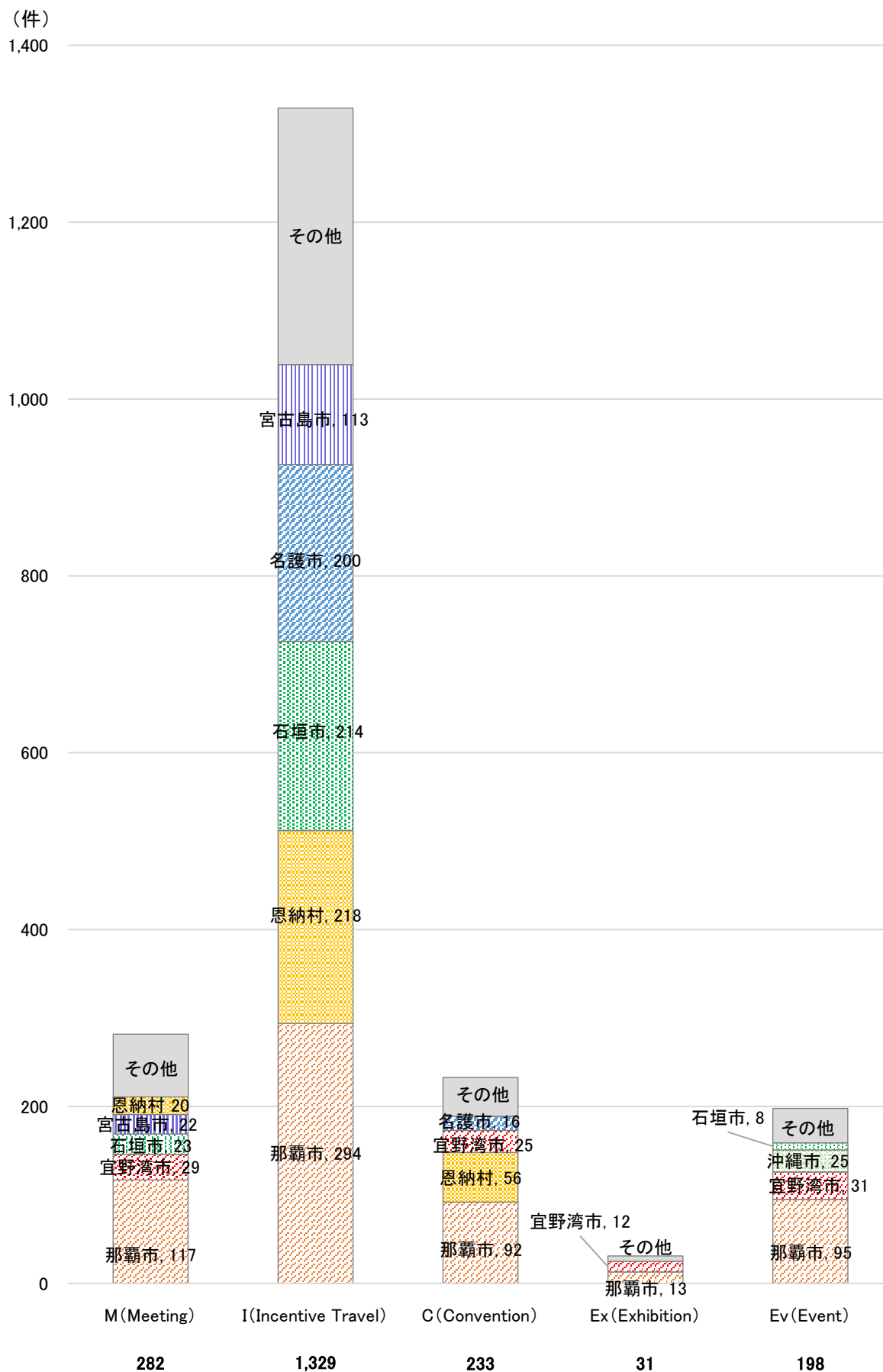


図表52. 令和6年 市町村別開催件数

(単位:件)

	市町村名	開催件数		M (Meeting)	I(Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
		件数	前年比					
1	那覇市	611	186%	117	294	92	13	95
2	恩納村	294	103%	20	218	56	0	0
3	石垣市	258	155%	23	214	13	0	8
4	名護市	239	121%	18	200	16	2	3
5	宮古島市	144	133%	22	113	5	0	4
6	宜野湾市	113	101%	29	16	25	12	31
7	糸満市	88	66%	5	72	4	0	7
8	本部町	66	550%	2	60	2	0	2
9	沖縄市	53	139%	6	19	1	2	25
10	北谷町	47	214%	3	41	1	0	2
11	豊見城市	41	114%	0	37	0	0	4
12	読谷村	33	97%	11	19	1	0	2
13	南城市	24	83%	5	15	1	0	3
14	浦添市	15	188%	0	2	5	2	6
15	うるま市	13	325%	11	1	0	0	1
16	久米島町	10	71%	5	0	4	0	1
17	宜野座村	5	500%	1	2	0	0	2
18	西原町	5	83%	0	0	5	0	0
19	伊江村	5	－	0	5	0	0	0
20	北中城村	3	－	3	0	0	0	0
21	南風原町	2	－	0	0	2	0	0
22	大宜味村	1	25%	0	0	0	0	1
23	嘉手納町	1	100%	0	0	0	0	1
24	与那国町	1	100%	1	0	0	0	0
25	今帰仁村	1	－	0	1	0	0	0
	合計	2,073	134%	282	1,329	233	31	198

図表53. 令和6年 催事別 市町村別 開催件数



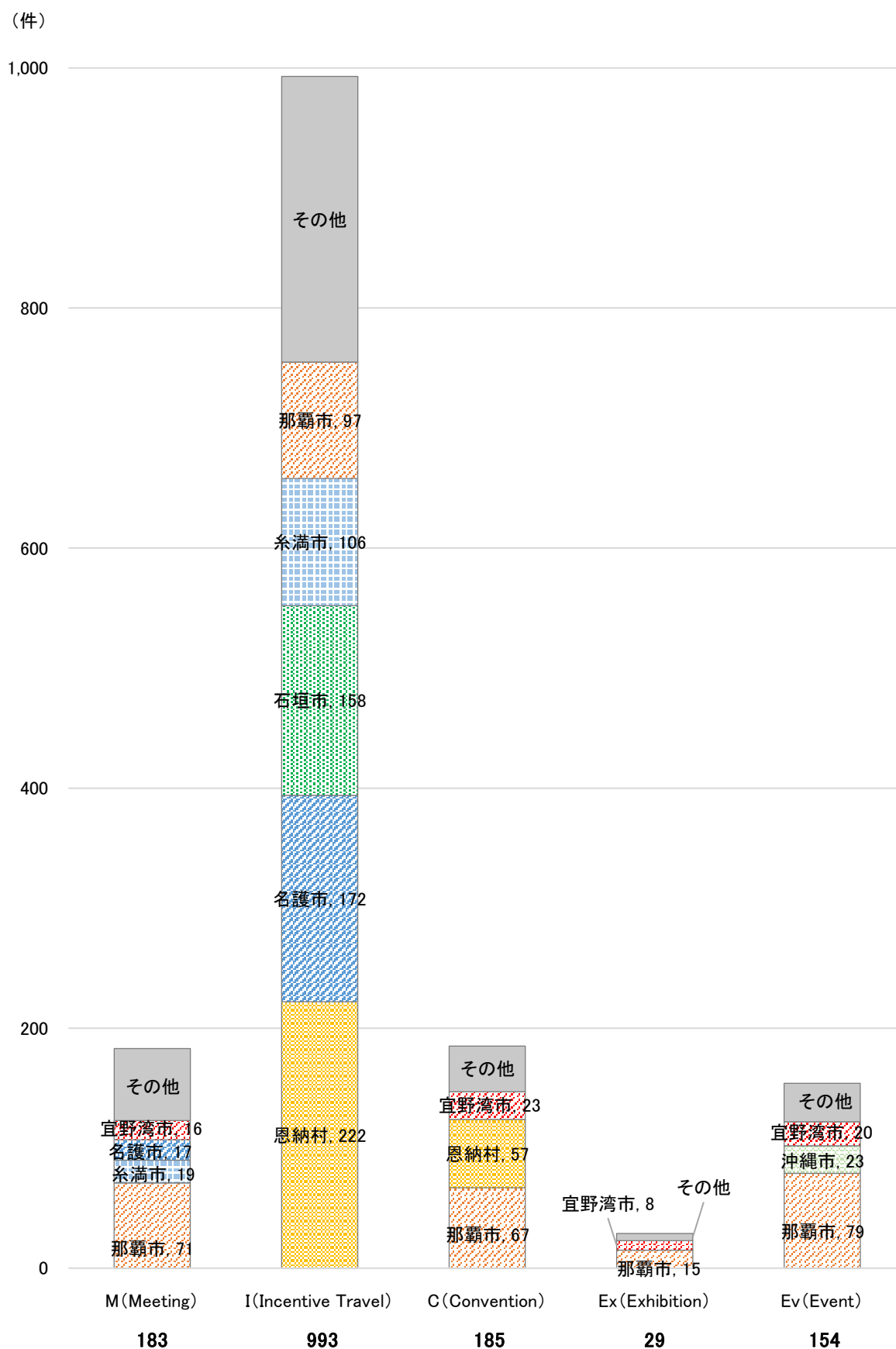
<参考> 令和5年 市町村別開催件数

図表54. 令和5年 市町村別開催件数

(単位:件)

	市町村名	件数	M (Meeting)	I(Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
1	那覇市	329	71	97	67	15	79
2	恩納村	286	7	222	57	0	0
3	名護市	198	17	172	9	0	0
4	石垣市	166	3	158	3	1	1
5	糸満市	133	19	106	4	0	4
6	宜野湾市	112	16	45	23	8	20
7	宮古島市	108	7	91	4	2	4
8	沖縄市	38	5	6	2	2	23
9	豊見城市	36	5	29	0	0	2
10	読谷村	34	6	25	1	0	2
11	南城市	29	9	16	0	0	4
12	北谷町	22	9	11	0	0	2
13	久米島町	14	7	1	4	0	2
14	本部町	12	0	12	0	0	0
15	浦添市	8	0	0	1	0	7
16	西原町	6	0	0	6	0	0
17	大宜味村	4	0	1	2	0	1
18	うるま市	4	2	0	0	1	1
19	嘉手納町	1	0	0	0	0	1
20	与那国町	1	0	0	1	0	0
21	東村	1	0	0	1	0	0
22	宜野座村	1	0	1	0	0	0
23	中城村	1	0	0	0	0	1
	合計	1,544	183	993	185	29	154

図表55. 令和5年 催事別 市町村別 開催件数



(4) エリア別・市町村別参加者数

エリア別参加者数は、本島南部が 688,052 人（全体比 57%）と最多で、次いで本島中部の 296,904 人（25%）、本島東海岸の 125,303 人（10%）となっている。これは、前年同様の並びであり、3 エリアで 92%を占めている。

市町村別参加者数は、那覇市が 607,998 人と最多で、次いで宜野湾市の 267,148 人、沖縄市の 121,621 人の順となっている。

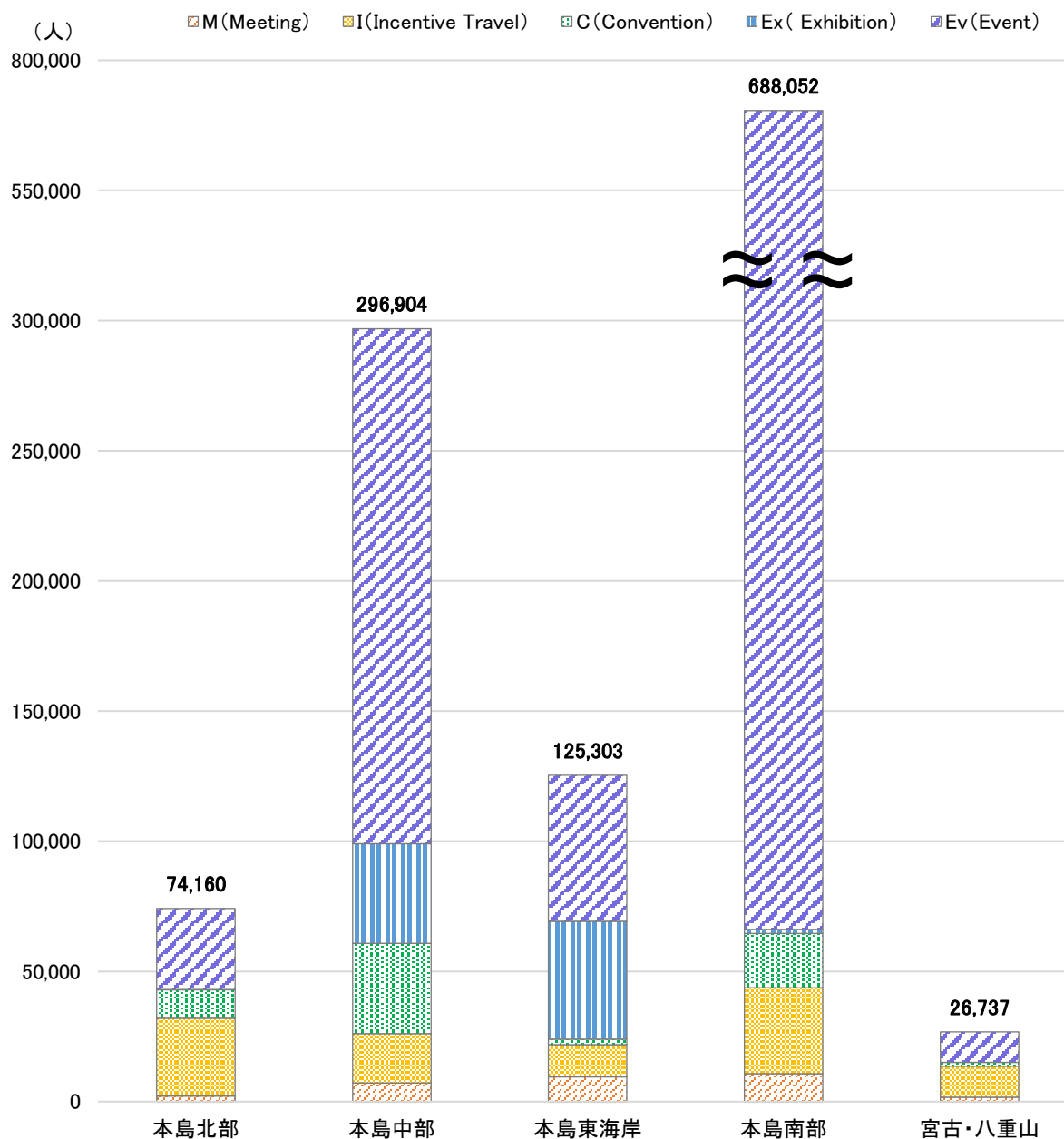
図表56. 令和 6 年 エリア別参加者数

（単位：人）

エリア区分	参加者数	M (Meeting)	I(Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
本島北部	74,160	2,137	29,905	10,870	180	31,068
本島中部	296,904	7,203	18,929	34,648	38,222	197,902
本島東海岸	125,303	9,451	12,444	2,136	45,190	56,082
本島南部	688,052	10,691	33,077	20,832	1,583	621,869
宮古・八重山	26,737	1,638	11,929	1,485	0	11,685
計	1,211,156	31,120	106,284	69,971	85,175	918,606

※エリア区分については、図表 50(34 ページ)を参照。

図表57. 令和6年 エリア別参加者数

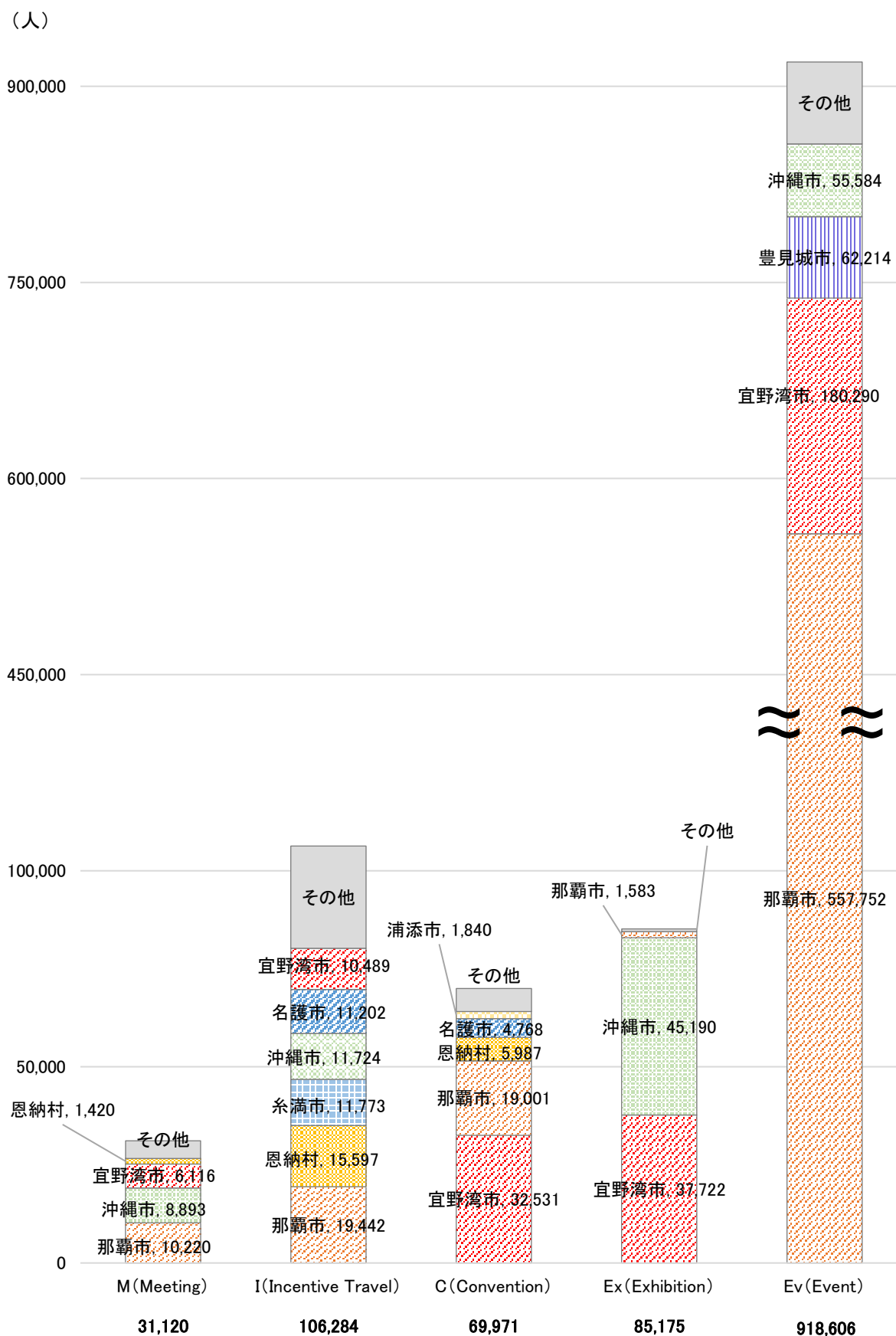


図表58. 令和6年 市町村別参加者数

(単位:人)

	市町村名	参加者数	M (Meeting)	I(Incentive Travel)	C (Convention)	Ex (Exhibition)	Ev (Event)
1	那覇市	607,998	10,220	19,442	19,001	1,583	557,752
2	宜野湾市	267,148	6,116	10,489	32,531	37,722	180,290
3	沖縄市	121,621	8,893	11,724	230	45,190	55,584
4	豊見城市	64,076	0	1,862	0	0	62,214
5	恩納村	23,004	1,420	15,597	5,987	0	0
6	大宜味村	20,000	0	0	0	0	20,000
7	名護市	19,196	626	11,202	4,768	180	2,420
8	糸満市	14,790	335	11,773	1,299	0	1,383
9	宮古島市	13,651	770	4,361	946	0	7,574
10	石垣市	13,042	824	7,568	539	0	4,111
11	読谷村	10,671	669	956	46	0	9,000
12	浦添市	9,428	0	588	1,840	500	6,500
13	本部町	9,093	71	2,826	115	0	6,081
14	北谷町	7,857	418	6,896	231	0	312
15	宜野座村	2,711	20	124	0	0	2,567
16	西原町	1,826	0	0	1,826	0	0
17	嘉手納町	1,800	0	0	0	0	1,800
18	南城市	1,418	174	705	80	0	459
19	久米島町	836	136	0	180	0	520
20	南風原町	352	0	0	352	0	0
21	うるま市	296	242	15	0	0	39
22	北中城村	142	142	0	0	0	0
23	伊江村	126	0	126	0	0	0
24	与那国町	44	44	0	0	0	0
25	今帰仁村	30	0	30	0	0	0
	合計	1,211,156	31,120	106,284	69,971	85,175	918,606

図表59. 令和6年 催事別 市町村別 参加者数



(5) 施設別開催件数

施設別開催件数では例年、ホテルや会議施設の利用が多くなっており、令和6年も同様にホテルでの開催が1,295件(前年比149%、426件増)、会議施設が431件(前年比109%、34件増)の結果となっている。

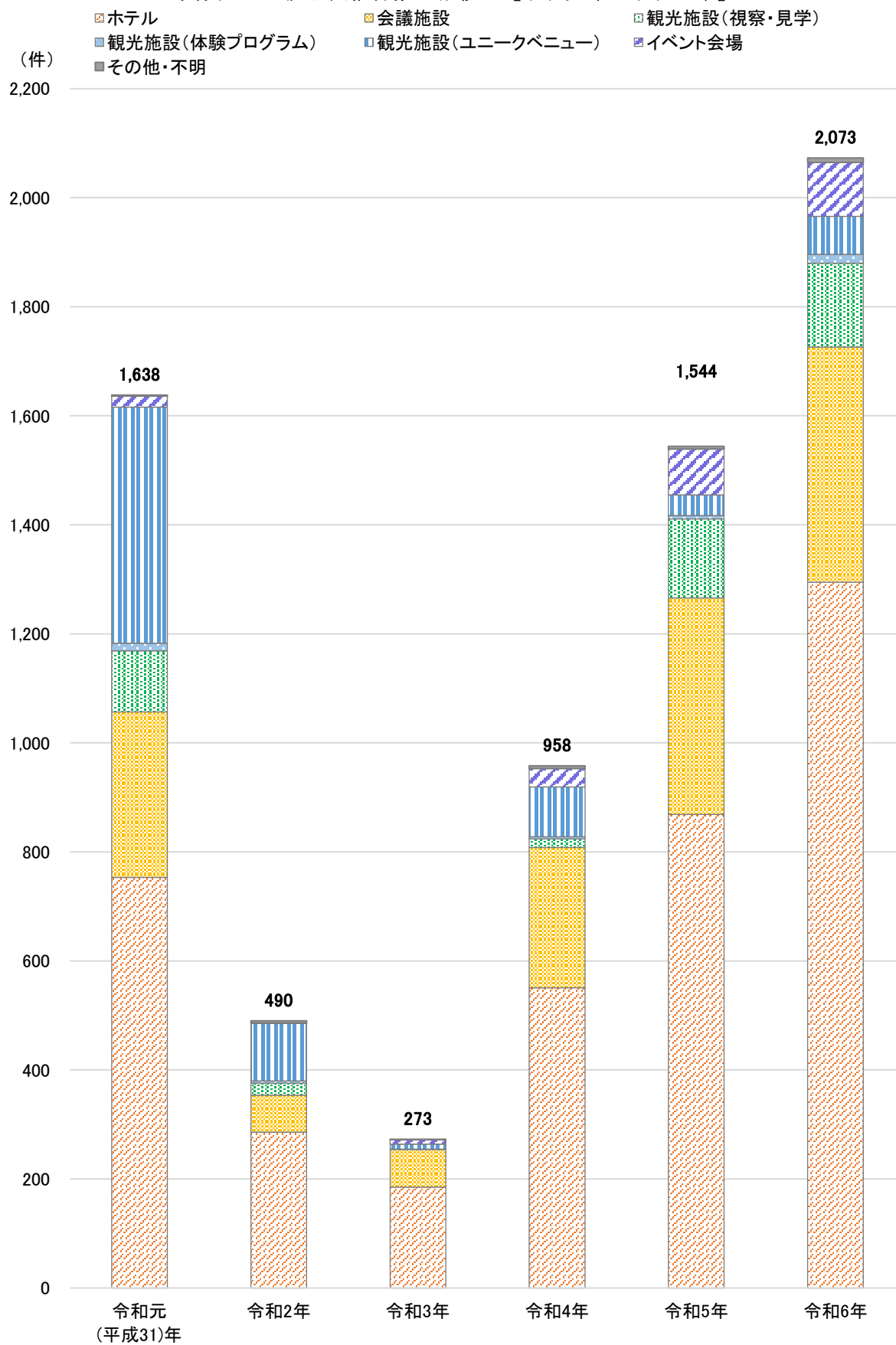
図表60. 施設別開催件数【令和元年～令和6年】

(単位:件)

No		令和元(平成31)年					令和2年					令和3年					
		M	I	C	E	計	M	I	C	E	計	M	I	C	Ex	Ev	計
1	ホテル	87	609	42	15	753	44	222	11	9	286	30	135	6	5	9	185
2	会議施設	40	26	169	69	304	20	7	28	13	68	20	7	29	8	5	69
3	観光施設 (視察・見学)	0	112	0	0	112	4	18	0	0	22	0	1	0	0	0	1
4	観光施設 (体験プログラム)	0	13	1	0	14	0	3	0	1	4	0	0	0	0	0	0
5	観光施設 (ユニークベニュー)	0	429	2	2	433	11	88	1	5	105	0	5	1	0	3	9
6	イベント会場	0	2	1	17	20	0	1	0	0	1	0	0	0	1	7	8
7	その他・不明	1	0	1	0	2	2	2	0	0	4	1	0	0	0	0	1
	合計	128	1,191	216	103	1,638	81	341	40	28	490	51	148	36	14	24	273

No		令和4年						令和5年						令和6年					
		M	I	C	Ex	Ev	計	M	I	C	Ex	Ev	計	M	I	C	Ex	Ev	計
1	ホテル	76	444	23	6	2	551	95	739	20	11	4	869	198	1,042	33	12	10	1,295
2	会議施設	47	40	118	17	35	257	67	69	162	15	84	397	67	51	195	15	103	431
3	観光施設 (視察・見学)	1	13	2	0	0	16	12	132	0	0	1	145	8	145	0	0	1	154
4	観光施設 (体験プログラム)	0	3	0	0	1	4	0	6	0	0	0	6	0	15	0	0	1	16
5	観光施設 (ユニークベニュー)	5	76	0	0	10	91	1	33	0	0	4	38	3	59	3	1	4	70
6	イベント会場	1	8	5	0	20	34	5	12	3	3	61	84	4	13	2	3	77	99
7	その他・不明	1	4	0	0	0	5	3	2	0	0	0	5	2	4	0	0	2	8
	合計	131	588	148	23	68	958	183	993	185	29	154	1,544	282	1,329	233	31	198	2,073

図表61. 施設別開催件数の推移 【令和元年～令和6年】



1-6. 経済波及効果の結果

平成 28 (2016) 年度に策定した「沖縄 MICE 振興戦略」で掲げる目標指標の達成状況を把握することを目的として、本調査で得られた基礎データを基に、経済効果の算出を行った。

1-6-1. 経済効果（直接効果）

経済効果（直接効果）の算出については、「沖縄 MICE 振興戦略」で示している以下の算出方法を用いた。なお、各原単位の値については、令和 6 年の原単位は未集計であるため、「沖縄県 MICE 開催実態調査事業原単位調査（令和 5 年版）報告書」から、令和元年から令和 5 年の値の平均を参考値として用いた。また、「不明」の参加者数は、催事別の県内・県外・海外の参加者の構成比に合わせて割り振りを行った。

算出結果は約 473 億円となり、令和 5 年の 370 億円から 103 億円の増加、新型コロナウイルス感染症の影響がない令和元（平成 31）年と比較すると 200 億円の増加となった。

【計算式】

$$\text{経済効果 (直接効果)} = \left[\begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{原単位} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{人数} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{主催者} \\ \text{原単位} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{参加者} \\ \text{人数} \\ \text{(M/I/C/E)} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{出展者} \\ \text{原単位} \\ \text{(Ex のみ)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{出展者数} \\ \text{(Ex のみ)} \end{array} \right]$$

出典:沖縄県(平成 28(2016)年)「沖縄 MICE 振興戦略」より

図表62. 本調査において経済効果（直接；参加者消費額・主催者消費額）算出に用いた各種数値

区分		件数	参加者数(人)				参加者原単位(円)			主催者 原単位 (円)	一人当たりの直接 経済効果(円)		
			県内	県外	海外	計	県内	県外	海外		県内	県外	海外
M		282	4,585	17,113	9,422	31,120	3,756	32,392	46,041	56,338	60,094	88,730	102,379
I		1,329	1,898	96,378	8,008	106,284	2,808	32,466	34,442	83,091	85,899	115,557	117,533
C		233	22,442	42,100	5,429	69,971	11,954	77,322	104,192	57,002	68,956	134,324	161,194
E		229	918,397	73,646	11,738	1,003,781							
内 訳	Ex	31	76,849	7,222	1,104	85,175	3,704	65,995	76,676	29,895	33,599	95,890	106,571
	Ev	198	841,548	66,424	10,634	918,606	7,438	52,886	81,216	9,610	17,048	62,496	90,826
計		2,073	947,322	229,237	34,597	1,211,156							

※Ex: Exhibition (展示会・商談会)、Ev: Event (イベント)

図表63. 本調査において経済効果（直接；出展者支出額）算出に用いた各種数値

	出展者数(件)	出展者原単位(円)
Ex(Exhibition)	3,560	392,101

※出展者数：インターネット上で確認された主催者発表の出展者数から、1件当たりの平均出展者数を算出し、これに Ex 件数を乗じた値

図表64. 令和6年 催事別経済効果（直接効果）

（単位：億円）

区分		参加者消費額	主催者消費額	出展者支出額	直接効果
		(a)	(b)	(c)	(a)+(b)+(c)
M (Meeting)		10.1	17.5	－	27.6
I (Incentive Travel)		34.1	88.3	－	122.4
C (Convention)		40.9	39.9	－	80.8
E (Exhibition, Event)		114.8	113.7	14.0	242.5
内訳	Ex (Exhibition)	8.5	25.5	14.0	48.0
	Ev (Event)	106.4	88.3	－	194.7
計		200	259	14	473

※それぞれの合計値については小数点以下四捨五入により計算。

図表65. 参考 令和5年 催事別経済効果（直接効果）

（単位：億円）

区分		参加者消費額	主催者消費額	出展者支出額	直接効果
		(a)	(b)	(c)	(a)+(b)+(c)
M (Meeting)		4.6	9.4	－	14.0
I (Incentive Travel)		25.4	56.9	－	82.3
C (Convention)		27.4	29.3	－	56.7
E (Exhibition, Event)		105.2	99.7	11.8	216.7
内訳	Ex (Exhibition)	7.0	17.7	11.8	36.5
	Ev (Event)	98.2	82.0	－	180.2
計		163	195	11.8	370

※それぞれの合計値については小数点以下四捨五入により計算。

図表66. 経済効果(直接効果)の推移(令和元年～令和6年)

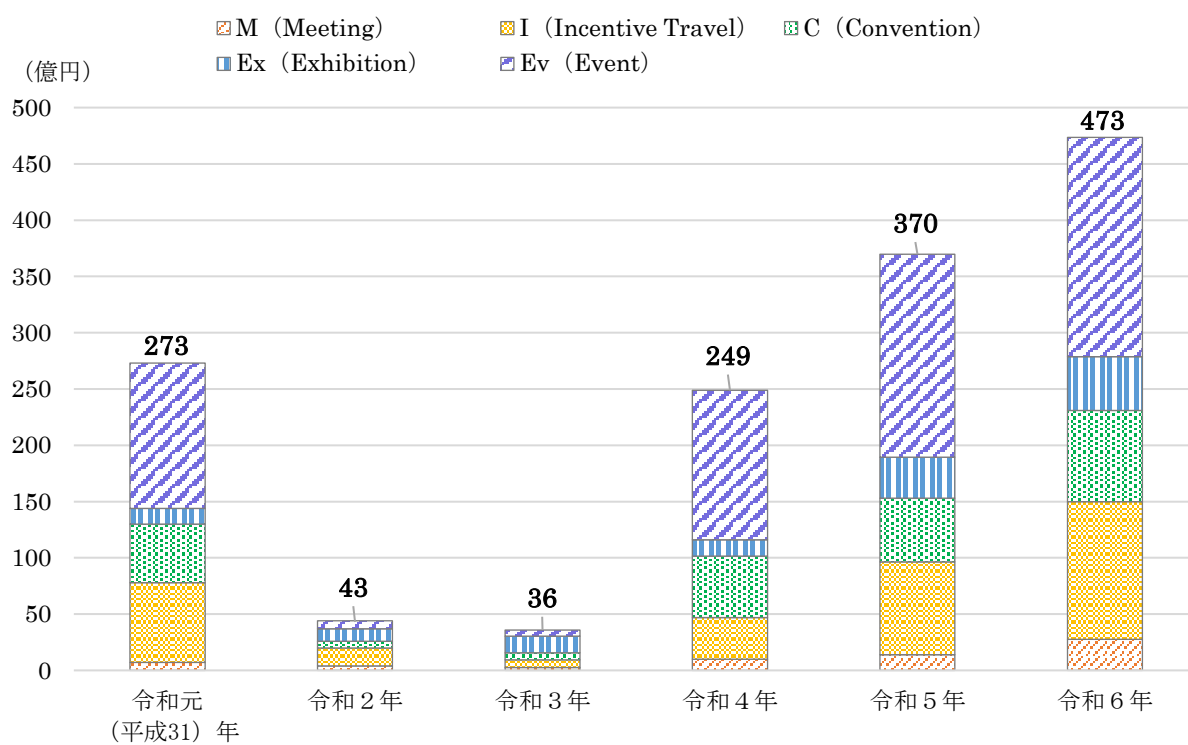
（単位：億円）

区分		令和元 (平成31)年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
							金額	前年比 増減額
M (Meeting)		7	4	3	10	14	27.6	13.6
I (Incentive Travel)		71	16	7	37	82	122.4	40.1
C (Convention)		52	6	6	55	57	80.8	24.1
E (Exhibition, Event)		143	17	20	147	217	242.5	25.8
内訳	Ex (Exhibition)	14	11	15	14	37	48.0	11.5
	Ev (Event)	129	7	6	133	180	194.7	14.5
計		273	43	36	249	370	473	103

※それぞれの合計値については小数点以下四捨五入により計算。

図表67. 経済効果(直接効果)の推移(令和元年～令和6年)

(単位:億円)



1-6-2. 経済波及効果（間接効果）

経済波及効果（間接効果）の算出については、本調査で得られた基礎データを基に、1催事当たりの会期日数、参加者数等のモデルを作成し、観光庁の「MICE の経済波及効果測定のための地域別簡易測定モデル」（観光庁モデル）を用いて1催事あたり経済波及効果（間接効果）を算出した後、令和6年のMICE開催件数を乗ずることで算出した。

算出結果は本調査事業始まって以来、過去最高の約561億円となり、令和5年の443億円から118億円の増加、新型コロナウイルス感染症の影響がない令和元（平成31）年と比較すると約219億円の増加となった。

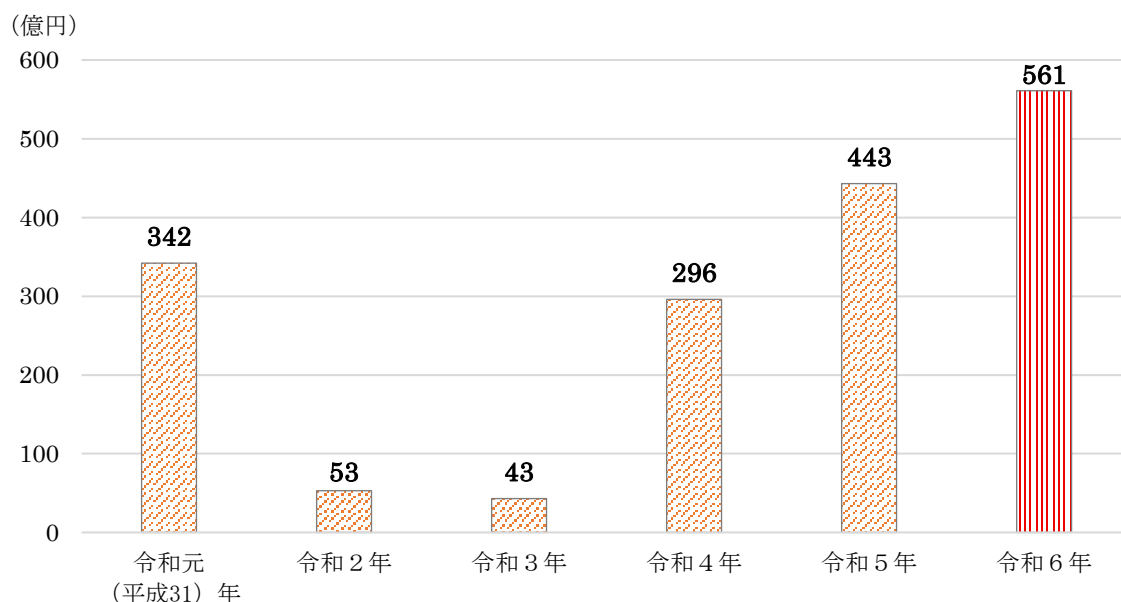
【計算式】

$$\boxed{\text{経済波及効果（間接効果）}} = \boxed{\text{1催事当たりの経済波及効果（間接効果）}} \times \boxed{\text{MICE開催件数（令和6年）}}$$

出典:沖縄県(平成28(2016)年)「沖縄 MICE 振興戦略」より

図表68. 経済効果(間接効果)の推移(令和元年～令和6年)

(単位:億円)



2-1. 開催実態調査 調査票

沖縄MICE開催実態調査（令和6年版）調査票（調査対象期間：2024年1月1日～2024年12月31日）
提出期限：令和7年（2025年）1月14日（火）提出先：ランドフレイク株式会社 沖縄事務所 E-mail:okinawa mice2024@sureco.jp / FAX:098-860-0653

回答者ID	
企業・団体名	
ご担当者名	
連絡先電話番号	
E-mail	

★【記入上のご注意】★

- ※1 県外または海外から10名以上の参加者がいる催事が対象です。(註1および別添のガイドラインまたは説明資料を二参照ください。)
- ※2 催事名および主催者は可能な限り記入ください。催事名称が同一の場合は、業種および産業分類、会議分野を記入ください。(註1および別添の説明資料を二参照ください。)
- ※3 参加者内訳は、出身地、国籍を問わず、参加時の居住地により振り分けてください。(例：県内在住の方は県内、県外在住の方は県外、海外在住(邦人を含む)は海外。)
- ※4 オンライン参加者は除きます。

●令和6年(2024年)1月1日～令和6年(2024年)12月31日の期間において、MICEを受け入れましたか？ ※どちらか1つを選択してください。

■ 1. あり 2. なし → (『2. なし』と回答された場合) これで回答は終了です。

【『1.あり』と回答された場合】

【1. 必ず】に回答された場合】
令和6年(2024年)1月1日～令和6年(2024年)12月31日のMICE受入実績をご記入ください。

[illegible]

2-2. ガイドライン

「沖縄県 MICE 開催実態調査（令和6年版）」ガイドライン

「MICE」の定義

「MICE」とは、企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・招待・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体や学会等が行う国内・国際会議（Convention）、展示会・見本市（Exhibition）、イベント等（Event）に該当する催事のことを指します。

調査対象となる「MICE」

本調査業務の対象となる「MICE」催事は、下記催事区分の定義に該当する催事のうち、**沖縄県外または日本国外からの参加者数（主催者を除く）が合計10名以上の催事とします。**
※参加者数（主催者を除く）には、オンライン参加者を含まない。

催事区分（M・I・C・E）について

本調査業務における「MICE」の催事区分は、以下の通りとします。

M（Meeting / 企業・団体会議）

企業・団体等（公共機関・学術団体等を除く）が主催する会議、研修、セミナー等

企業・団体会議は、企業・団体等（公共機関・学術団体等を除く）が「ビジネスの促進」や「アイデアの共有」等を目的として開催する「会議」、「研修」、「式典」、「セミナー」等を指すものとし、具体的には以下のような形態の催事をいいます。

- （1）沖縄県外または日本国外拠点の社員を含む社内会議、顧客（沖縄県外・日本国外を含む）との会議・商談、サプライヤーとの会議等
- （2）複数の顧客を対象とした新商品セミナー・業界セミナー・ビジネスカンファレンス等
- （3）自社社員・販売員・販売代理店やサプライヤー企業を対象とした教育や情報発信目的の研修・セミナー等
- （4）自社社員・顧客・販売代理店・サプライヤー等を対象とした周年パーティーや記念式典等

※ただし、上記（1）～（4）に相当する場合であっても、「Incentive Travel/インセンティブ旅行」の定義に該当する催事は、I（Incentive Travel/インセンティブ旅行）としてカウントします。

■企業/団体会議主催者の業種選択について■

企業/団体会議主催者の業種については、4 ページ目の表1 から一番近いと思われるものを選択してください。

【催事区分 M（Meeting）の例】

「〇〇株式会社 全国責任者会議」、「〇〇産業連合会 九州沖縄ブロック支部会議」、「〇〇会経営者総会」、「新人経営者向けの〇〇セミナー」、「グループミーティング」等

I (Incentive Travel / インセンティブ旅行)

企業等が主催する報奨旅行、研修旅行、社員慰労旅行、招待旅行等

インセンティブ旅行は、沖縄県外または日本国外を出発地とする団体旅行型催事のうち、「ビジネスの促進」、「アイデアの共有」、「参加対象者の過去の実績に対する報奨の提供」を目的とするものを指します。具体的には以下のような形態の催事をいいます。

- (1) 自社保員・販売員・販売代理店を対象とした報奨・研修・慰労目的の旅行
- (2) 業績に応じて一定の条件をクリアした社員を選抜して開催する催事
- (3) 催事の中に、経営方針・新商品等についての会議や研修等の要素が入るものもあるが、主目的が「参加社員のモチベーション向上」、「好業績に対する報奨」である催事

※したがって、上記の要件に該当しない教育旅行(修学旅行、ゼミ旅行等)、募集型企画旅行、ファンクラブ向けツアー等は除きます。

■インセンティブ旅行主催企業の業種選択について■

インセンティブ旅行主催企業の業種については、4ページ目の表1から一番近いと思われるものを選択してください。

【催事区分I (Incentive Travel) の例】

「〇〇株式会社 全社研修旅行」、「〇〇販売店グループ 成績優秀者表彰旅行」、
「〇〇代理店 沖縄特別セミナーツアー」等

C (Convention / 学会・大会)

協会・学会・国内(国際)機関・団体等が主催する国際会議、学術会議、学会、研究会、報告会、大会、講習会、セミナー、シンポジウム、ワークショップ等

学会・大会は、公共機関が主催する公益性の高いテーマを討議する国内・国際会議、大会等、または学術団体等が主催する学術的、技術的な議論・研究発表を目的とした学術会議、研究会、報告会等を指します。具体的には以下の様な形態の催事をいいます。

- (1) 官公庁等(地方自治体等を含む)が主催する政府間協議、全国会議、エリア会議等
- (2) 国際・国内の公共機関・団体等が主催する加盟国・団体の全体会議、調整会議等
- (3) 学術団体、研究機関等が主催する学術集会や研究発表会、ワークショップ、シンポジウム等
- (4) 業界団体等が主催する年次総会やテーマごとの発表等。ただし、M (Meeting/企業・団体会議) に該当するものを除く。

■開催された学会・大会等の分野選択について■

学会・大会の分野については、4ページ目の表2から一番近いと思われるものを選択してください。

【催事区分C (Convention) の例】

「日本〇〇学会 学術集会」、「〇〇協会 第〇〇回総会」、「〇〇に関する国際会議」等

E (Exhibition, Event / 展示会・見本市・イベント)

展示会、見本市、商談会、イベント

展示会・見本市・商談会とは、国や地域を超えた「モノ」、「サービス」、「情報」の売買や商談を目的として開催する、商品やサービス等の展示・宣伝・デモンストレーションを行う催事をいいます。また、イベントとは、商品やサービスの販売促進、プロモーションの手段として開催する催事をいいます。

※ただし、Ex (Exhibition) の催事区分に相当する展示会であっても、フリーマーケット、路上販売会、美術・博物館等については本調査の対象外とします。 また、Ev (Event) の催事区分に相当するイベント等であっても、就職説明会、スポーツイベント、入学式・入社式、卒業式・修了式、各種試験（採用試験、資格試験）等については本調査の対象外とします。

■展示会・見本市、イベント等の催事分野について■

展示会・見本市、イベント等の催事分野については、4 ページ目の表 1 から一番近いと思われるものを選択してください。

【催事区分 E (Exhibition, Event) の例】

〈Exhibition〉

「国際〇〇見本市」、「〇〇業界商談会」、「〇〇物産展」

〈Event〉

「〇〇ミュージックフェスタ」、「〇〇映画祭」、「〇〇ライブ」等

【表1】 M (Meeting)、I (Incentive Travel)、E (Exhibition, Event) 産業分類一覧
(日本標準産業分類に基づく)

(A)	農業、林業
(B)	漁業
(C)	鉱業、採石業、砂利採取業
(D)	建設業
(E)	製造業
(F)	電気・ガス・熱供給・水道業
(G)	情報通信業
(H)	運輸業、郵便業
(I)	卸売業、小売業
(J)	金融業、保険業
(K)	不動産業、物品賃貸業
(L)	学術研究、専門・技術サービス業
(M)	宿泊業、飲食サービス業
(N)	生活関連サービス業、娯楽業
(O)	教育、学習支援業
(P)	医療、福祉
(Q)	複合サービス事業
(R)	サービス業（他に分類されないもの）
(S)	公務（他に分類されるものを除く）

【表2】 C (Convention) 会議分野一覧 (JNTO 国際会議統計に基づく)

(1)	政治、経済、法律
(2)	科学、技術、自然
(3)	医学
(4)	産業
(5)	芸術、文化、教育
(6)	社会
(7)	運輸、観光
(8)	社交、親善
(9)	宗教
(10)	スポーツ（講演会やセミナーの開催または併催の場合のみ）
(11)	その他